

成田市市民意識調査 報告書

平成27年2月

成 田 市

目次

第1部 全体概要	1
1. 市民意識調査の実施概要	1
2. 回答者の属性について(問 29～問 33)	2
第2部 基本施策に関する調査結果(問 4)	11
1. 施策別満足度・重要度一覧.....	11
2. 施策別満足度・重要度の分布状況.....	13
第3部 個別施策に関する調査結果.....	15
1. 成田市の住みごころについて(問 1～問 3)	15
2. 産業振興について(問 5～問 6)	19
3. 健康・福祉について(問 7～問 10)	21
4. 教育文化について(問 11～問 13)	25
5. 安心・安全のまちづくりについて(問 14～問 17)	29
6. 環境問題について(問 18～問 19)	33
7. 市民と行政の協働について(問 20～問 22)	36
8. 都市基盤・都市環境について(問 23～問 27)	40
9. 成田市の発展方向について(問 28)	45

第1部 全体概要

1. 市民意識調査の実施概要

(1) 調査の目的

「成田市次期総合計画」の策定にあたり、基本構想の検討への活用と現行計画の進捗状況の把握、及び成田市民の意向や市民のニーズを把握することを目的としています。

(2) 調査対象・抽出方法

調査対象：成田市に居住する15歳以上の市民10,000名を無作為抽出

(3) 調査内容

施策の相対的な位置づけを把握する「満足度・重要度調査」と、施策の進捗状況を把握する「進捗状況調査」の2種類の調査を実施します。

(4) 調査方法、調査機関

- ① 調査方法：市民意識調査票を郵送により配布、回収
- ② 調査期間：平成26年9月19日から同年10月10日

(5) 回収結果

回収件数：4,459件（回収率44.59%）

(6) アンケート結果の集計と解析について

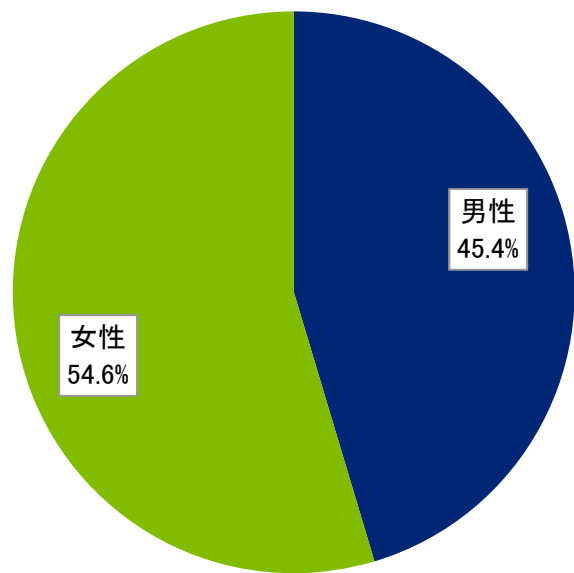
- ① 図表の数値は回答率を表しています。
- ② 図表の数値は小数点第一位未満を四捨五入しており、合計が100%にならない場合があります
- ③ 満足度・重要度調査について
 - ✓ 満足度：「満足」5点、「やや満足」4点、「どちらとも言えない」3点、「やや不満」2点、「不満」1点と満足度に応じて得点を設定し、この得点に各々の回答者数を乗じて総得点を算出した上、その得点を回答者数で除した数値です。数値が大きいほど満足度が高く、小さいほど満足度が低いことを表します。
 - ✓ 重要度：「重要」5点、「やや重要」4点、「どちらとも言えない」3点、「あまり重要ではない」2点、「重要ではない」1点と重要度に応じて得点を設定し、満足度と同様に算出した数値です。数値が大きいほど重要度が高く、小さいほど重要度が低いことを表します。

2. 回答者の属性について(問 29～問 33)

(1) 性別 (問 29)

「男性」が 45.4%、「女性」が 54.6%と、回答者は女性の割合が多くなっています。

【グラフ：回答者性別（比率）】



【表：回答者性別（回答者数・比率）】

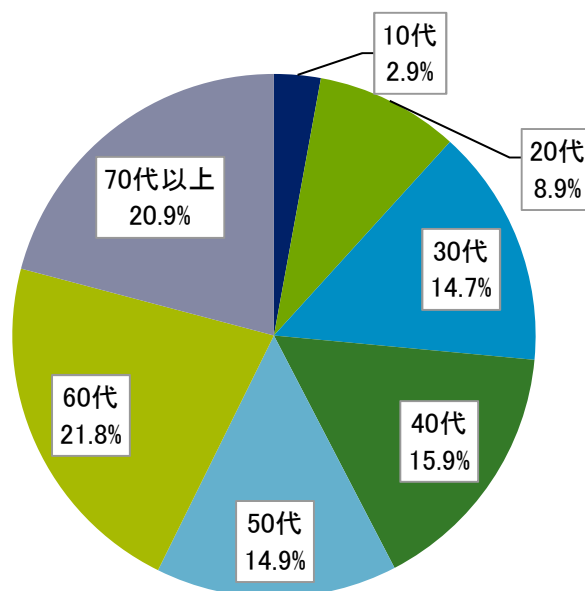
	男性	女性	合計
人数	1,976	2,381	4,357
割合	45.4%	54.6%	100.0%

※有効回答のみを対象として集計しているため、質問への「無回答」は除外して集計しています。(以下同じ)

(2) 年齢（問29）

年齢は、「60代」が最も割合が高く、21.8%となっています。次いで「70代以上」20.9%、「40代」15.9%と続いています。

【グラフ：回答者年齢（比率）】



【表：回答者年齢（回答者数・比率）】

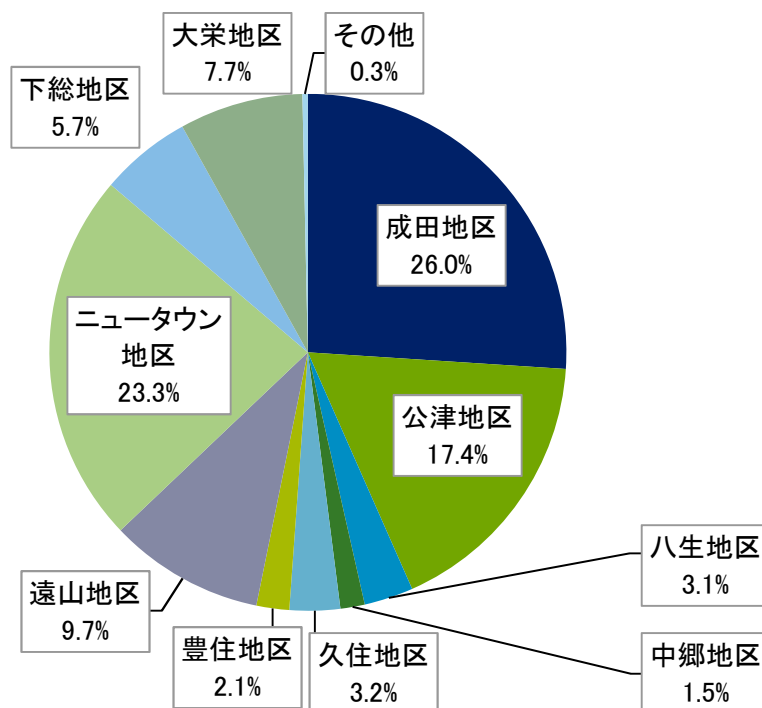
	10代	20代	30代	40代
人数	126	389	647	698
割合	2.9%	8.9%	14.7%	15.9%

	50代	60代	70代以上	合計
人数	656	957	917	4,390
割合	14.9%	21.8%	20.9%	100.0%

(3) 地区（問29）

居住地区別にみると、「成田地区」が26.0%で最も高く、次いで「ニュータウン地区」23.3%、「公津地区」17.4%と続いています。

【グラフ：回答者居住地区（比率）】



【表：回答者居住地区（回答者数・比率）】

	成田地区	公津地区	八生地区	中郷地区	久住地区
人数	1,128	754	133	66	137
割合	26.0%	17.4%	3.1%	1.5%	3.2%

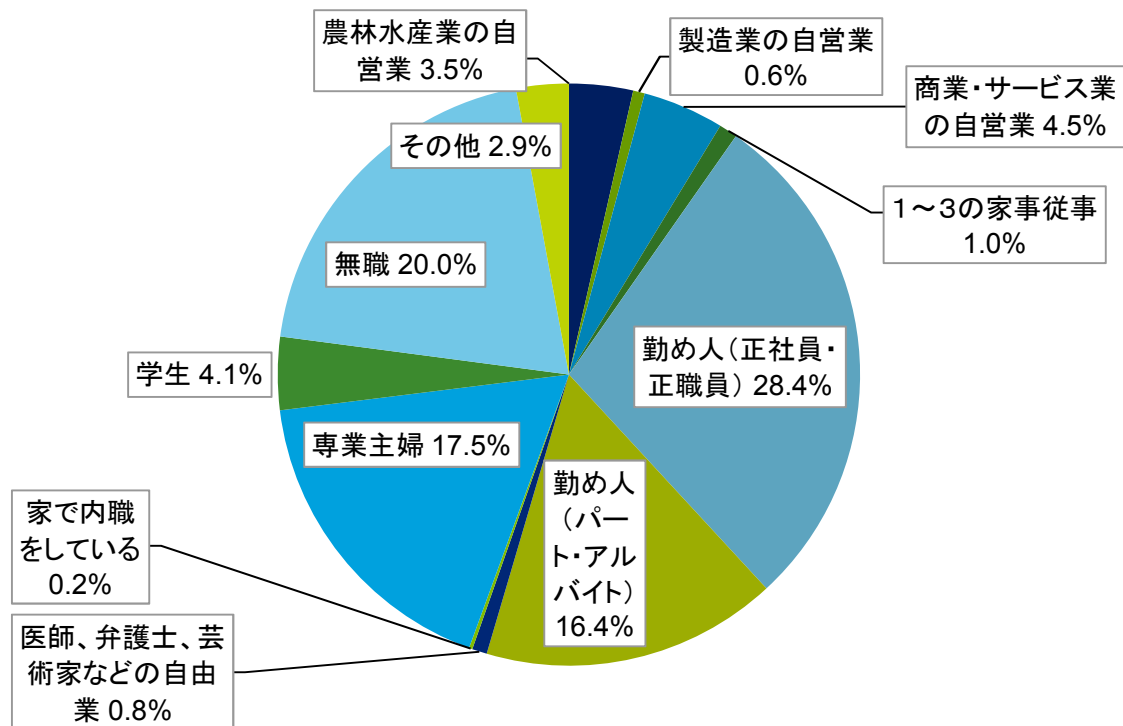
	豊住地区	遠山地区	ニュータウン地区	下総地区	大栄地区
人数	89	421	1,010	247	335
割合	2.1%	9.7%	23.3%	5.7%	7.7%

	その他	合計
人数	13	4,333
割合	0.3%	100.0%

(4) 職業（問30）

職業は、「勤め人（正社員・正職員）」が 28.4%で最も多く、次いで「無職」20.0%、「専業主婦」17.5%と続きます。

【グラフ：回答者職業（比率）】



【表：回答者職業（回答者数・比率）】

	農林水産業の 自営業	製造業の自営業	商業・サービス業 の自営業	上記3職業の 家事従事	勤め人 (正社員・正職員)
人数	155	28	197	45	1,241
割合	3.5%	0.6%	4.5%	1.0%	28.4%

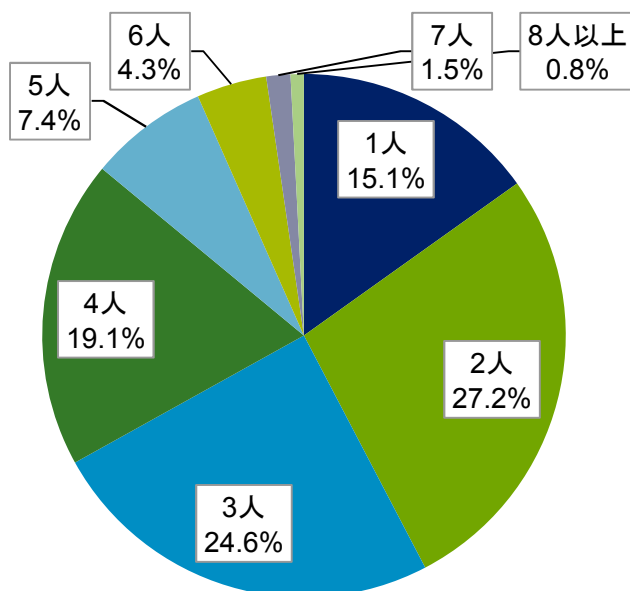
	勤め人（パート・ アルバイト）	医師、弁護士、芸 術家などの自由業	家で内職を している	専業主婦	学生
人数	718	36	8	763	177
割合	16.4%	0.8%	0.2%	17.5%	4.1%

	無職	その他	合計
人数	873	128	4,369
割合	20.0%	2.9%	100.0%

(5) 同居家族人数（問31）

回答者と同居している家族の人数（回答者含む）は、「2人」が27.2%で最も割合が高くなっています。次いで3人が24.6%、4人が19.1%と続きます。

【グラフ：回答者同居家族人数（比率）】



【表：回答者同居家族人数（回答者数・比率）】

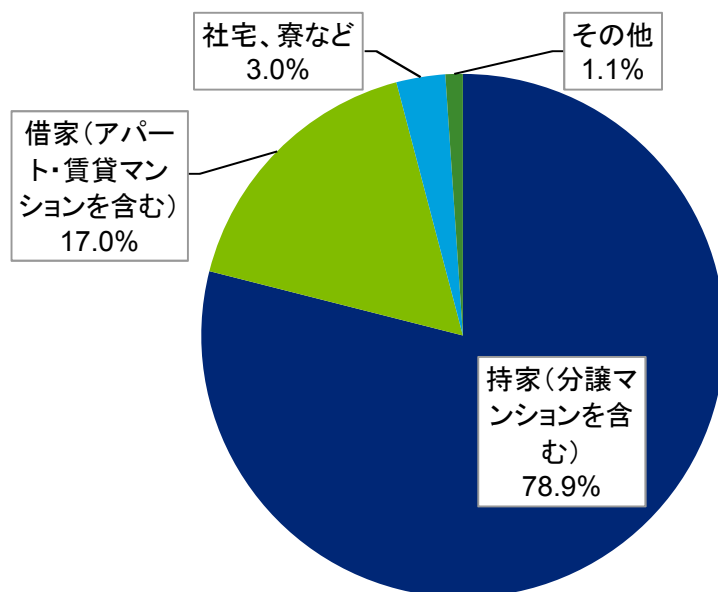
	1人	2人	3人	4人	5人
人数	666	1,197	1,083	839	324
割合	15.1%	27.2%	24.6%	19.1%	7.4%

	6人	7人	8人以上	合計
人数	190	66	36	4,401
割合	4.3%	1.5%	0.8%	100.0%

(6) 住宅の種類 (問32)

回答者が居住している住宅の種類は、持家が78.9%と最も高く、次いで借家が17.0%と続きます。

【グラフ：回答者住宅状況（比率）】



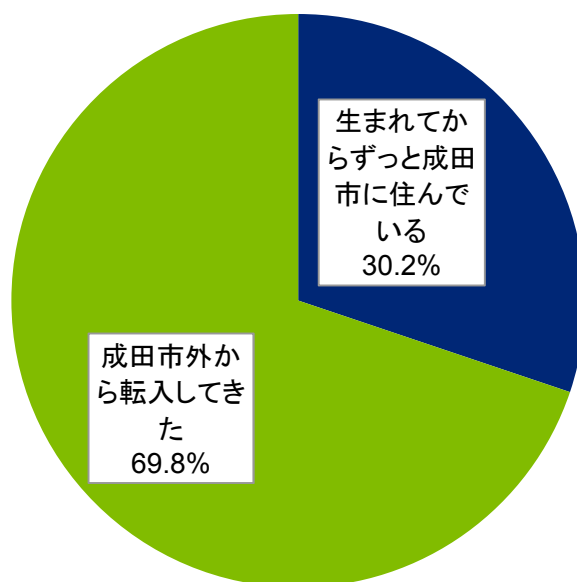
【表：回答者住宅状況（回答者数・比率）】

	持家（分譲マンションを含む）	借家（アパート・賃貸マンションを含む）	社宅、寮など	その他	合計
人数	3,473	746	133	47	4,399
割合	78.9%	17.0%	3.0%	1.1%	100.0%

(7) 成田市の居住状況（問33）

「生まれてからずっと成田市に住んでいる」方が30.2%で、「成田市外から転入してきた」方が69.8%となっています。

【グラフ：回答者居住状況（比率）】



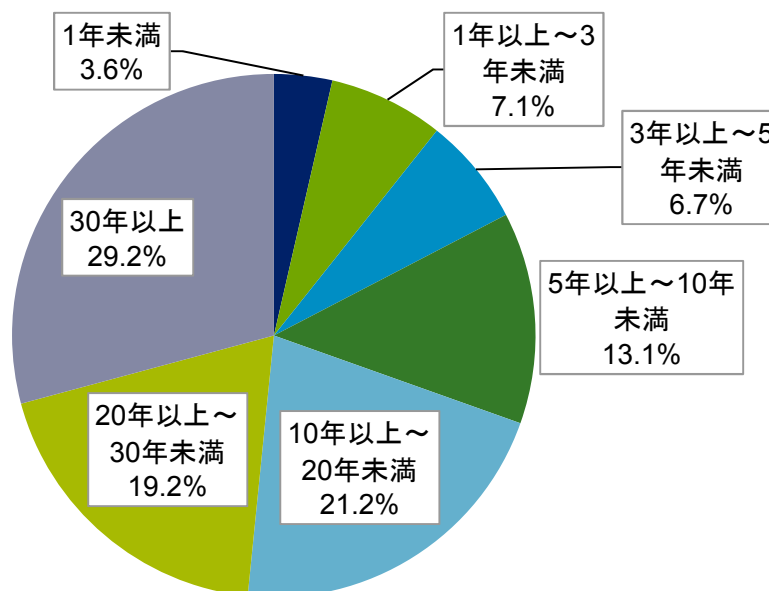
【表：回答者居住状況（回答者数・比率）】

	生まれてからずっと 成田市に住んでいる	成田市外から 転入してきた	合計
人数	1,326	3,070	4,396
割合	30.2%	69.8%	100.0%

(7) -① 成田市に住んでからの年数 (問33-①)

成田市外から転入してきた方の中で、成田市に住んでいる年数は、「30年以上」の方が29.2%で最も高く、次いで「10年以上～20年未満」の方が21.2%、「20年以上～30年未満」の方が19.2%と続いています。

【グラフ：回答者転入状況（比率）】



【表：回答者転入状況（回答者数・比率）】

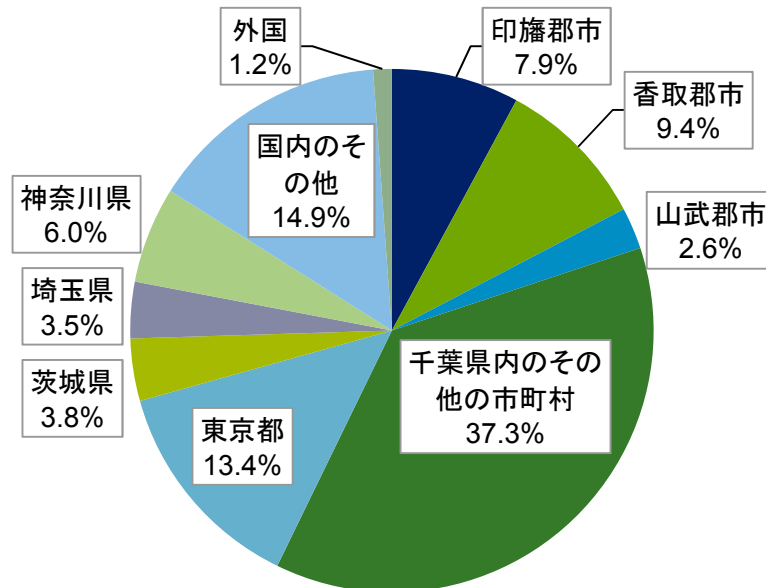
	1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満
人数	110	217	204	399
割合	3.6%	7.1%	6.7%	13.1%

	10年以上～20年未満	20年以上～30年未満	30年以上	合計
人数	647	587	892	3,056
割合	21.2%	19.2%	29.2%	100.0%

(7) -② 成田市への転入前に居住していた地域 (問33-②)

成田市外から転入してきた方の中で、転入する前に住んでいた地域は「千葉県内のその他の市町村」が37.3%で最も高く、次いで「国内のその他の地域」が14.9%、「東京都」が13.4%と続きます。

【グラフ：回答者転入状況（比率）】



【表：回答者転入状況（回答者数・比率）】

	印旛郡市	香取郡市	山武郡市	千葉県内のその他の市町村
人数	240	287	78	1,135
割合	7.9%	9.4%	2.6%	37.3%

	東京都	茨城県	埼玉県	神奈川県
人数	409	117	106	181
割合	13.4%	3.8%	3.5%	6.0%

	国内のその他	外国	合計
人数	453	35	3,041
割合	14.9%	1.2%	100.0%

第2部 基本施策に関する調査結果（問4）

1. 施策別満足度・重要度一覧

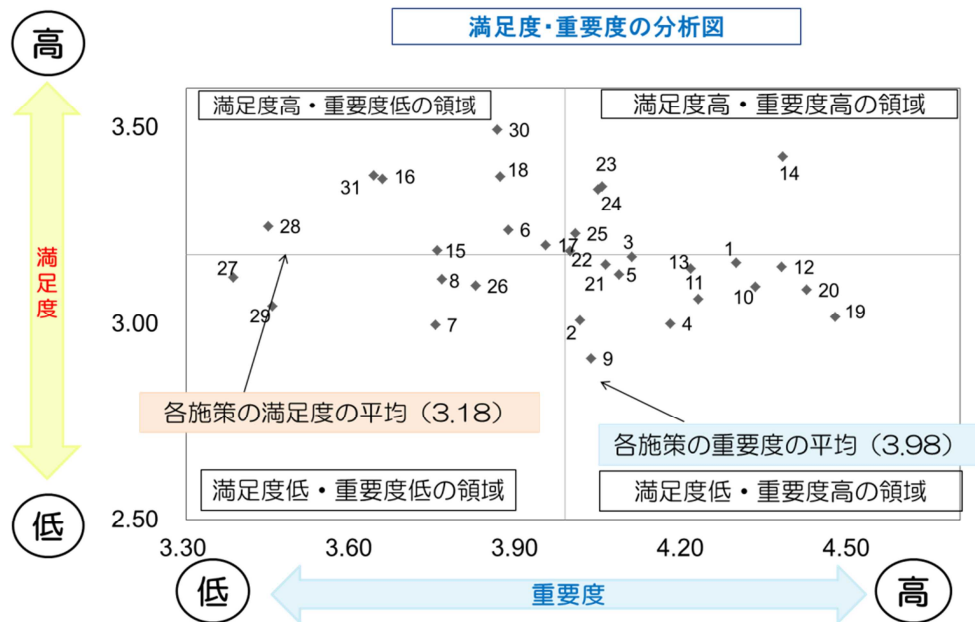
施策		満足度	重要度
1	空港の活用と交通・情報ネットワークの確立	3.16	4.29
2	都市計画の適切な策定・推進	3.01	4.01
3	快適な市街地の整備	3.17	4.11
4	利便性の高い交通インフラの整備	3.00	4.18
5	活動しやすい都市環境の整備	3.15	4.06
6	国際性豊かな観光地づくりの推進	3.24	3.88
7	農林水産業の持続的発展	3.00	3.75
8	地域特性を活かした商工業の振興	3.11	3.76
9	充実した労働環境の整備	2.91	4.03
10	高齢者が自立し安心して暮らせる体制の整備	3.09	4.33
11	障がい者が自立し安心して暮らせる体制の整備	3.06	4.23
12	安心して出産し子育てができる環境の整備	3.14	4.38
13	安心して暮らせる福祉体制の確立	3.14	4.21
14	健康で長生きできる暮らしの実現	3.43	4.38
15	国際交流の発展	3.19	3.75
16	成田の地域文化の保存承継	3.37	3.66
17	子どもも大人もともに学び育つ教育の推進	3.20	3.95
18	生涯を通して学びスポーツができるまちづくり	3.38	3.87
19	災害に強いまちづくり	3.02	4.47
20	防犯体制の強化	3.09	4.42
21	安全に暮らせる地域社会の構築	3.12	4.08
22	空港と共生し地域振興を図るまちづくり	3.19	3.99
23	地球環境保全に向けた取り組みの推進	3.35	4.05
24	上下水道や生活環境施設の整備	3.34	4.05
25	生活に密着した道路や公園などの整備	3.23	4.00
26	公害防止に向けた環境保全対策の充実	3.10	3.82
27	男女がともに参画するための社会環境の整備	3.12	3.39
28	コミュニティ活動の活性化と市民協働の推進	3.25	3.45
29	市民ニーズを的確に捉えた行政サービスの提供	3.05	3.46
30	効率的な自治体運営	3.49	3.86
31	積極的な情報提供と市民ニーズの把握	3.38	3.64
平均		3.18	3.98

成田市が行っている施策を満足度と重要度を軸とし、①満足度、重要度ともに高い施策、②満足度が高く、重要度が低い施策、③満足度が低く、重要度が高い施策、④満足度、重要度ともに低い施策の4つに分類し、施策の優先順位付けのための分析を実施しました。

重要度の平均値は 3.98 となっており、全体的に見て、成田市の実施している施策については、重要度が高いと認識している市民が多いことがうかがえる一方で、満足度の平均値は 3.18 と重要度の平均値と比較すると、0.8 のギャップがあります。

これは現行の行政サービス水準と市民の期待度には差異があることを示しており、市民の市政に対する期待度の高さがうかがえます。

2. 施策別満足度・重要度の分布状況



参考：満足度・重要度マトリックス図

<満足度高・重要度低>		<満足度高・重要度高>	
6	国際性豊かな観光地づくりの推進	14	健康で長生きできる暮らしの実現
15	国際交流の発展	22	空港と共生し地域振興を図るまちづくり
16	成田の地域文化の保存承継	23	地球環境保全に向けた取り組みの推進
17	子どもも大人もともに学び育つ教育の推進	24	上下水道や生活環境施設の整備
18	生涯を通して学びスポーツができるまちづくり	25	生活に密着した道路や公園などの整備
28	コミュニティ活動の活性化と市民協働の推進		
30	効率的な自治体運営		
31	積極的な情報提供と市民ニーズの把握		
<満足度低・重要度低>		<満足度低・重要度高>	
7	農林水産業の持続的発展	1	空港の活用と交通・情報ネットワークの確立
8	地域特性を活かした商工業の振興	2	都市計画の適切な策定・推進
26	公害防止に向けた環境保全対策の充実	3	快適な市街地の整備
27	男女がともに参画するための社会環境の整備	4	利便性の高い交通インフラの整備
29	市民ニーズを的確に捉えた行政サービスの提供	5	活動しやすい都市環境の整備
		9	充実した労働環境の整備
		10	高齢者が自立し安心して暮らせる体制の整備
		11	障がい者が自立し安心して暮らせる体制の整備
		12	安心して出産し子育てができる環境の整備
		13	安心して暮らせる福祉体制の確立
		19	災害に強いまちづくり
		20	防犯体制の強化
		21	安全に暮らせる地域社会の構築

全施策における満足度・重要度の平均値を基準とし、満足度・重要度を＜満足度高・重要度高＞、＜満足度高・重要度低＞、＜満足度低・重要度高＞、＜満足度低・重要度低＞の4つに分類し、各施策の満足度および重要度の現状値を相対的に評価しました。

＜満足度高・重要度高＞

全施策のうち、相対的に満足度が高く、重要度も高い領域には「健康で長生きできる暮らしの実現」、「空港と共生し地域振興を図るまちづくり」、「地球環境保全に向けた取り組みの推進」「上下水道や生活環境施設の整備」、「生活に密着した道路や公園などの整備」、の5施策が該当します。

この領域にある施策は、他の施策と比較し、市民ニーズに即していることがうかがえ、今後も引き続き重点施策として施策運営に取り組んでいく必要がある施策といえます。

＜満足度高・重要度低＞

全施策のうち、相対的に満足度が高く、重要度が低い領域には、「国際性豊かな観光地づくりの推進」、「国際交流の発展」、「成田の地域文化の保存承継」、「子どもも大人もともに学び育つ教育の推進」、「生涯を通して学びスポーツができるまちづくり」、「コミュニティ活動の活性化と市民協働の推進」、「効率的な自治体運営」、「積極的な情報提供と市民ニーズの把握」、の8施策が該当します。

この領域にある施策は、他の施策と比較し、満足度の水準と比べると、重要度は低いと感じている施策であり、行政サービスが市民ニーズとバランスの取れた内容となっているのかという視点から、改めて施策内容について検討を行う必要があります。

＜満足度低・重要度高＞

全施策のうち、相対的に満足度が低く、重要度が高い領域には、「空港の活用と交通・情報ネットワークの確立」、「都市計画の適切な策定・推進」、「快適な市街地の整備」、「利便性の高い交通インフラの整備」、「活動しやすい都市環境の整備」、「充実した労働環境の整備」、「高齢者が自立し安心して暮らせる体制の整備」、「障がい者が自立し安心して暮らせる体制の整備」、「安心して出産し子育てができる環境の整備」、「安心して暮らせる福祉体制の確立」、「災害に強いまちづくり」、「防犯体制の強化」、「安全に暮らせる地域社会の構築」の13施策が該当します。

この領域にある施策は、他の施策と比較し、市民の高い期待度があらわれている施策であり、行政としてはその期待に応えられるように事業の見直しを図る必要があり、相対的に優先順位の高い施策であるといえます。

＜満足度低・重要度低＞

全施策のうち、相対的に満足度が低く、重要度も低い領域には、「農林水産業の持続的発展」、「地域特性を活かした商工業の振興」、「公害防止に向けた環境保全対策の充実」、「男女がともに参画するための社会環境の整備」、「市民ニーズを的確に捉えた行政サービスの提供」の5施策が該当します。

この領域にある施策は、他の施策と比較し、市民の関心度が低い施策であり、まずは市民の関心度を高める方を検討していくとともに、事業目的に相応しいサービスが提供できているのかなど事業内容全般を改めて検証する必要があります。

第3部 個別施策に関する調査結果

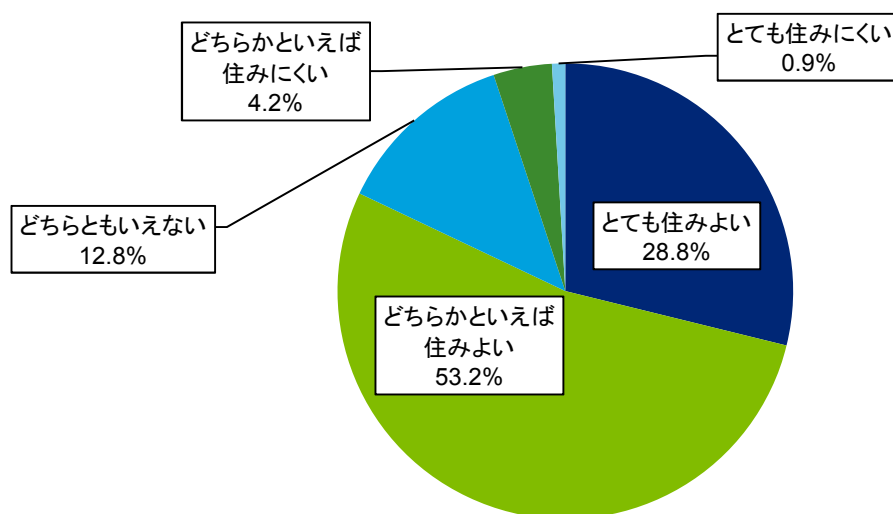
1. 成田市の住みごころについて(問1～問3)

問1 あなたにとって、現在の成田市の住みごころはいかがですか。(1つを選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「どちらかといえば住みよい」が53.2%と最も多く、「とても住みよい」が28.8%、「どちらともいえない」が12.8%と続いています。大半の市民が成田市を「住み良い」と感じています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	とても住みよい	どちらかといえば 住みよい	どちらともいえない	どちらかといえば 住みにくい
人数	1,270	2,344	566	184
割合	28.8%	53.2%	12.8%	4.2%

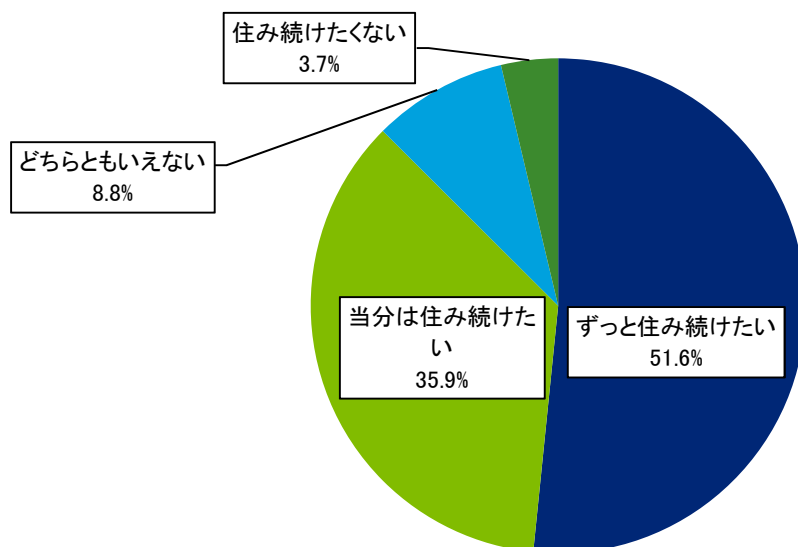
	とても住みにくい	合計
人数	41	4,405
割合	0.9%	100.0%

問2 あなたは、成田市に住み続けたいですか。（1つを選択）

（1）回答全体

回答全体としては、「ずっと住み続けたい」が51.6%と最も多く、「当分は住み続けたい」が35.9%、「どちらともいえない」が8.8%と続いています。大半の市民が成田市に「住み続けたい」と感じています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	ずっと住み続けたい	当分は住み続けたい	どちらともいえない	住み続けたくない	合計
人数	2,279	1,584	389	164	4,416
割合	51.6%	35.9%	8.8%	3.7%	100.0%

問2－① 問2で「住み続けたくない」と答えた方におうかがいします。

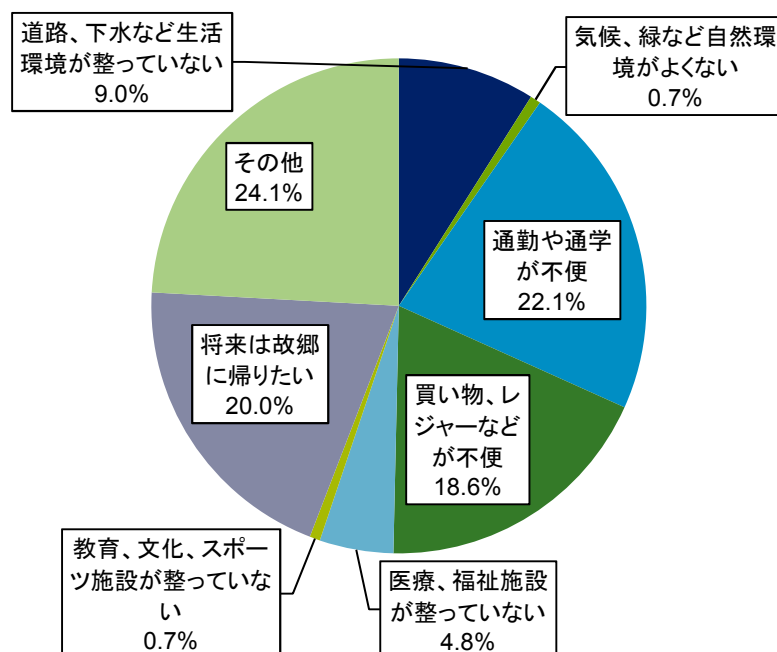
住み続けたくない理由は何ですか。（1つを選択）

（1）回答全体

回答全体としては、「その他」を除くと「通勤や通学が不便」が22.1%で最も多く、「将来は故郷に帰りたい」が20.0%と続いています。

「その他」の内容としては、「東京で働きたい」、「成田空港の飛行機の騒音」、「保育園（市営）が少なすぎ、子育てが困難である」等の回答があげられています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	道路、下水など生活環境が整っていない	気候、緑など自然環境がよくない	通勤や通学が不便	買い物、レジャーなどが不便	医療、福祉施設が整っていない
人数	13	1	32	27	7
割合	9.0%	0.7%	22.1%	18.6%	4.8%

	教育、文化、スポーツ施設が整っていない	将来は故郷に帰りたい	その他	合計
人数	1	29	35	145
割合	0.7%	20.0%	24.1%	100.0%

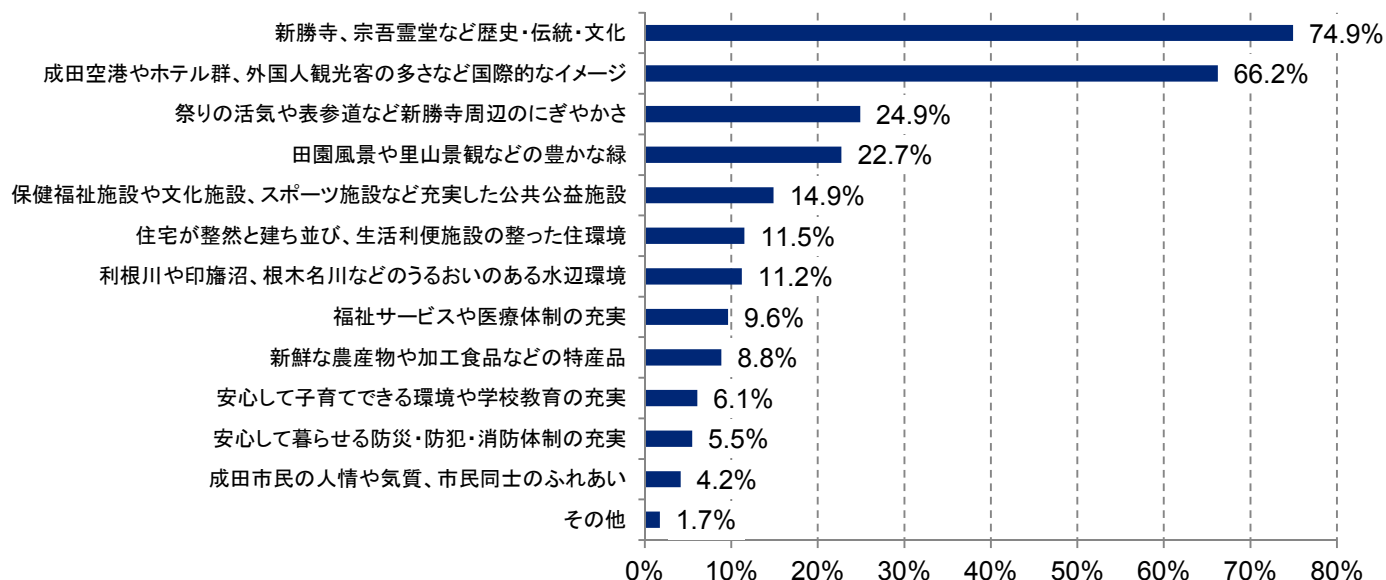
問3 成田市らしいもの、成田市で誇れるものは何ですか。（3つ以内を選択）

（1）回答全体

回答全体としては、「新勝寺、宗吾霊堂など歴史・伝統・文化」が74.9%と最も多く、「成田空港やホテル群、外国人観光客の多さなど国際的なイメージ」が66.2%、「祭りの活気や表参道など新勝寺周辺のにぎやかさ」が24.9%と続いています。

成田空港、新勝寺、宗吾霊堂等を成田市の魅力と感じている方が多いことがわかります。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	成田空港やホテル群、外国人観光客の多さなど国際的なイメージ	新勝寺、宗吾霊堂など歴史・伝統・文化	利根川や印旛沼、根木名川などのうろいのある水辺環境	田園風景や里山景観などの豊かな緑	住宅が整然と建ち並び、生活利便施設の整った住環境
人数	2,877	3,255	487	988	500
割合	66.2%	74.9%	11.2%	22.7%	11.5%

	保健福祉施設や文化施設、スポーツ施設など充実した公共公益施設	祭りの活気や表参道など新勝寺周辺のにぎやかさ	成田市民の人情や気質、市民同士のふれあい	新鮮な農産物や加工食品などの特産品	福祉サービスや医療体制の充実
人数	647	1,082	181	384	419
割合	14.9%	24.9%	4.2%	8.8%	9.6%

	安心して暮らせる防災・防犯・消防体制の充実	安心して子育てできる環境や学校教育の充実	その他	有効回答者数
人数	238	264	76	4,344
割合	5.5%	6.1%	1.7%	-

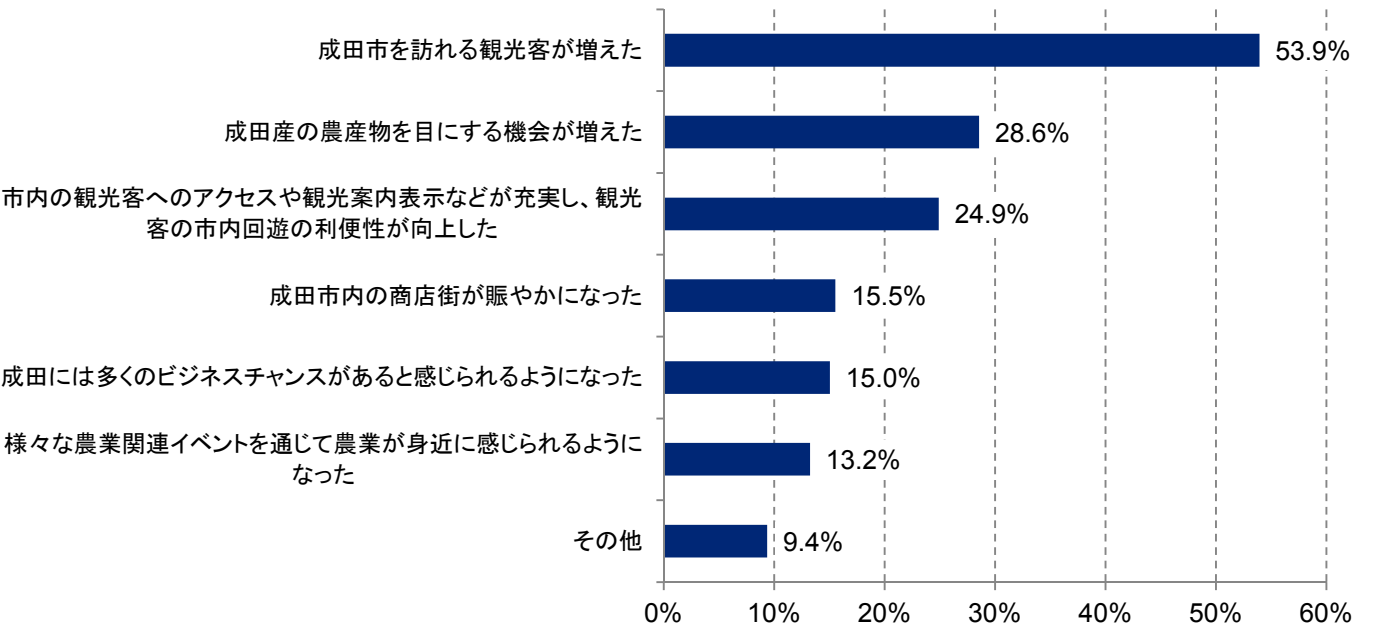
2. 産業振興について（問 5～問 6）

問 5 あなたは、成田市の各産業（観光業、農林水産業、商工業）の状況について、どのように感じていますか。
（あてはまるものすべてを選択）

（1）回答全体

回答全体としては、「成田市を訪れる観光客が増えた」が 53.9%と最も多く、「成田産の農産物を目にする機会が増えた」が 28.6%、「市内の観光客へのアクセスや観光案内表示などが充実し、観光客の市内回遊の利便性が向上した」が 24.9%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	成田市を訪れる観光客 が増えた	市内の観光客へのアクセス や観光案内表示などが充実 し、観光客の市内回遊の 利便性が向上した	成田産の農産物を目に する機会が増えた	様々な農業関連イベントを 通じて農業が身近に感じら れるようになった
人数	2, 176	1, 005	1, 152	534
割合	53. 9%	24. 9%	28. 6%	13. 2%

	成田市内の商店街が 賑やかになった	成田には多くのビジネス チャンスがあると感じられ るようになった	その他	有効回答者数
人数	627	607	378	4, 034
割合	15. 5%	15. 0%	9. 4%	-

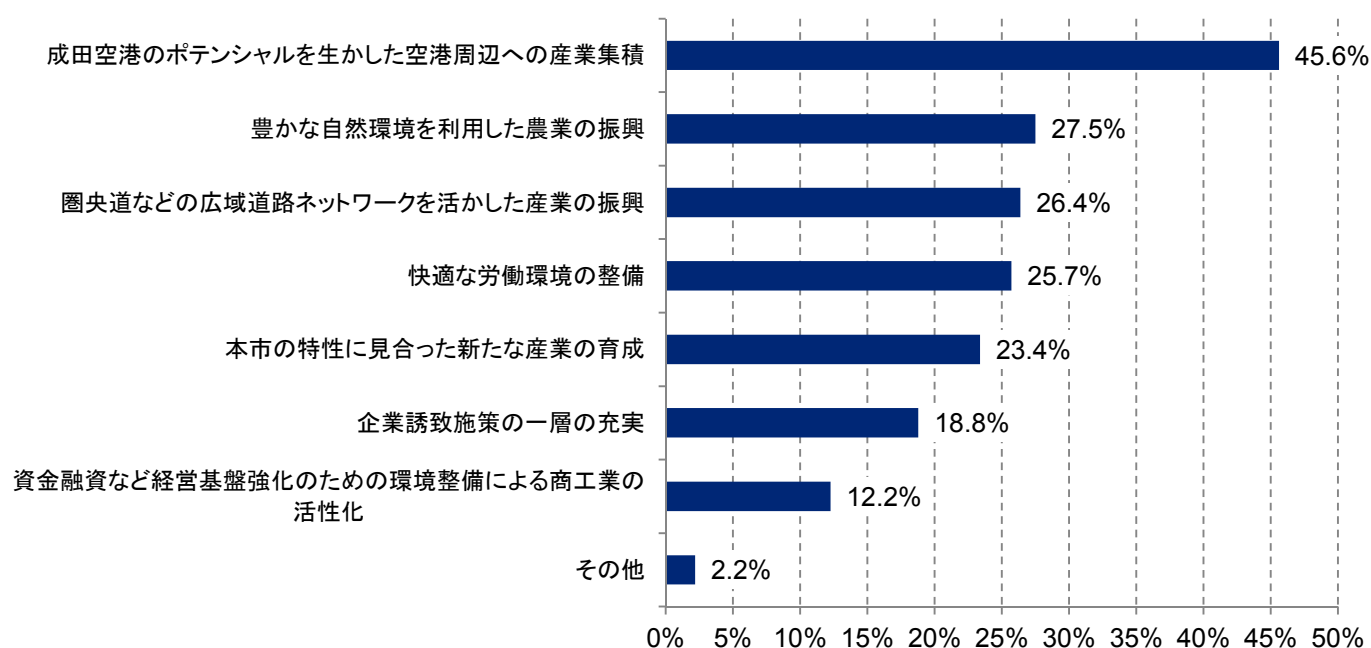
問6 成田市の産業振興のために、どのようなことに力を入れていくべきとお考えですか。

(あてはまるもの2つ以内を選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「成田空港のポテンシャルを生かした空港周辺への産業集積」が45.6%と最も多く、「豊かな自然環境を利用した農業の振興」が27.5%、「圏央道などの広域道路ネットワークを活かした産業の振興」が26.4%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	成田空港のポテンシャルを生かした空港周辺への産業集積	豊かな自然環境を利用した農業の振興	資金融資など経営基盤強化のための環境整備による商工業の活性化	本市の特性に見合った新たな産業の育成	圏央道などの広域道路ネットワークを活かした産業の振興
人数	1,840	1,109	494	943	1,064
割合	45.6%	27.5%	12.2%	23.4%	26.4%

	企業誘致施策の一層の充実	快適な労働環境の整備	その他	有効回答者数
人数	758	1,037	88	4,034
割合	18.8%	25.7%	2.2%	-

3. 健康・福祉について（問 7～問 10）

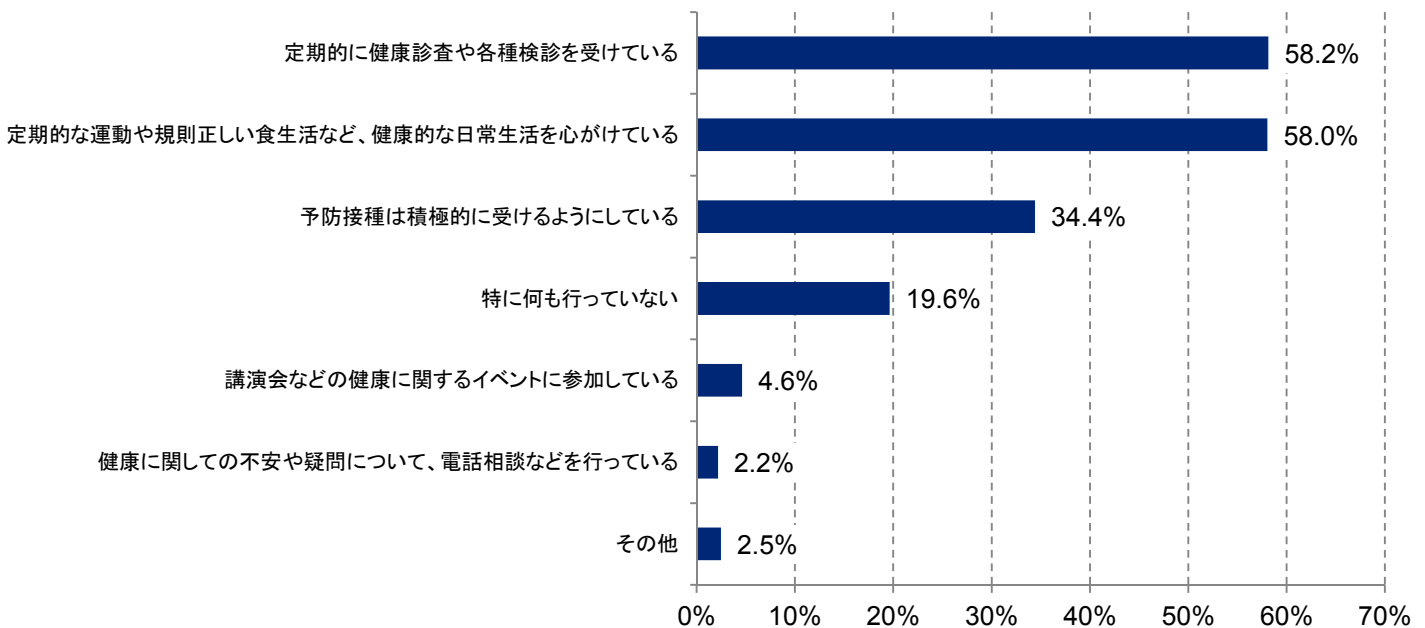
問 7 あなたは、普段の生活の中で、健康のためにどのようなことに取り組んでいますか。

（あてはまるものすべてを選択）

（1）回答全体

回答全体としては、「定期的に健康診査や各種検診を受けている」が 58.2%と最も多く、「定期的な運動や規則正しい食生活など、健康的な日常生活を心がけている」が 58.0%、「予防接種は積極的に受けるようにしている」が 34.4%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	定期的な運動や規則正しい食生活など、健康的な日常生活を心がけている	定期的に健康診査や各種検診を受けている	予防接種は積極的に受けるようにしている	講演会などの健康に関するイベントに参加している
人数	2,549	2,554	1,511	203
割合	58.0%	58.2%	34.4%	4.6%

	健康に関しての不安や疑問について、電話相談などを行っている	特に何も行っていない	その他	有効回答者数
人数	95	862	109	4,392
割合	2.2%	19.6%	2.5%	-

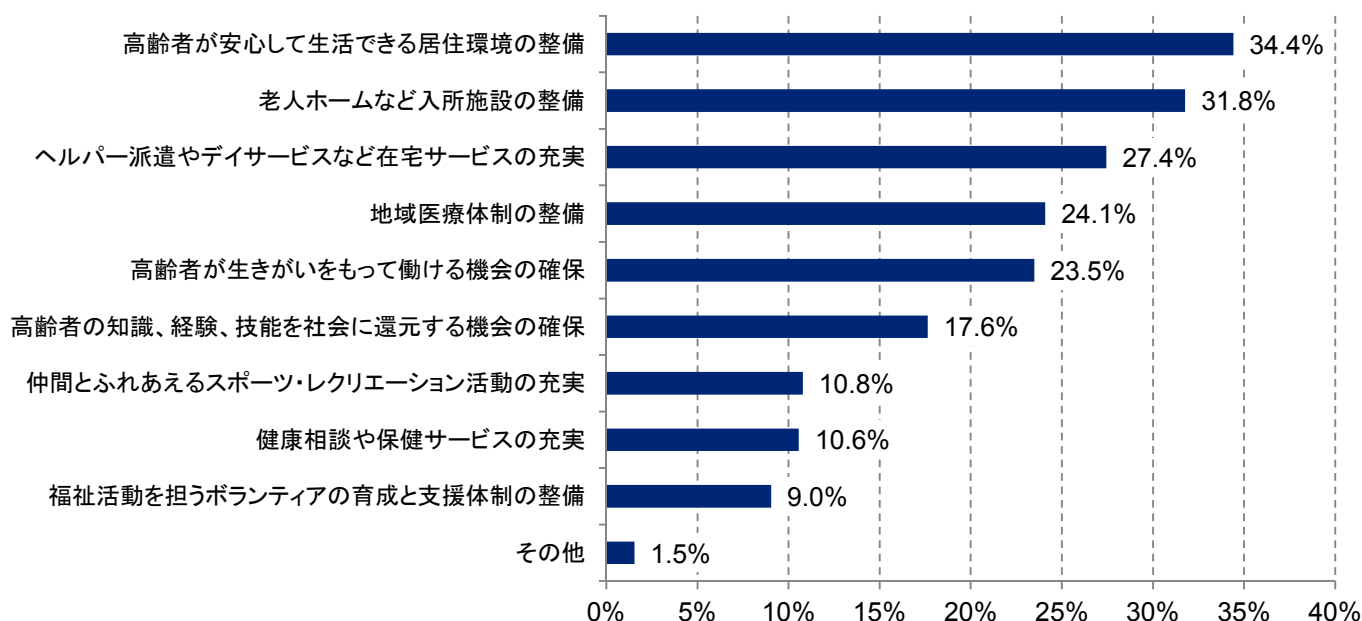
問8 高齢化が進むなかで、どのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。

(あてはまるもの2つ以内を選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「高齢者が安心して生活できる居住環境の整備」が34.4%と最も多く、「老人ホームなど入所施設の整備」が31.8%、「ヘルパー派遣やデイサービスなど在宅サービスの充実」が27.4%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	健康相談や 保健サービスの充実	高齢者が安心して 生活できる居住環境の整備	福祉活動を担うボランティ アの育成と支援体制の整備	ヘルパー派遣やデイサービ スなど在宅サービスの充実
人数	439	1,430	376	1,140
割合	10.6%	34.4%	9.0%	27.4%

	老人ホームなど 入所施設の整備	仲間とふれあえる スポーツ・レクリエーション活動の充実	高齢者が生きがいをもって 働ける機会の確保	高齢者の知識、経験、技能を社 会に還元する機会の確保
人数	1,320	448	976	733
割合	31.8%	10.8%	23.5%	17.6%

	地域医療体制の整備	その他	有効回答者数
人数	1,001	64	4,155
割合	24.1%	1.5%	-

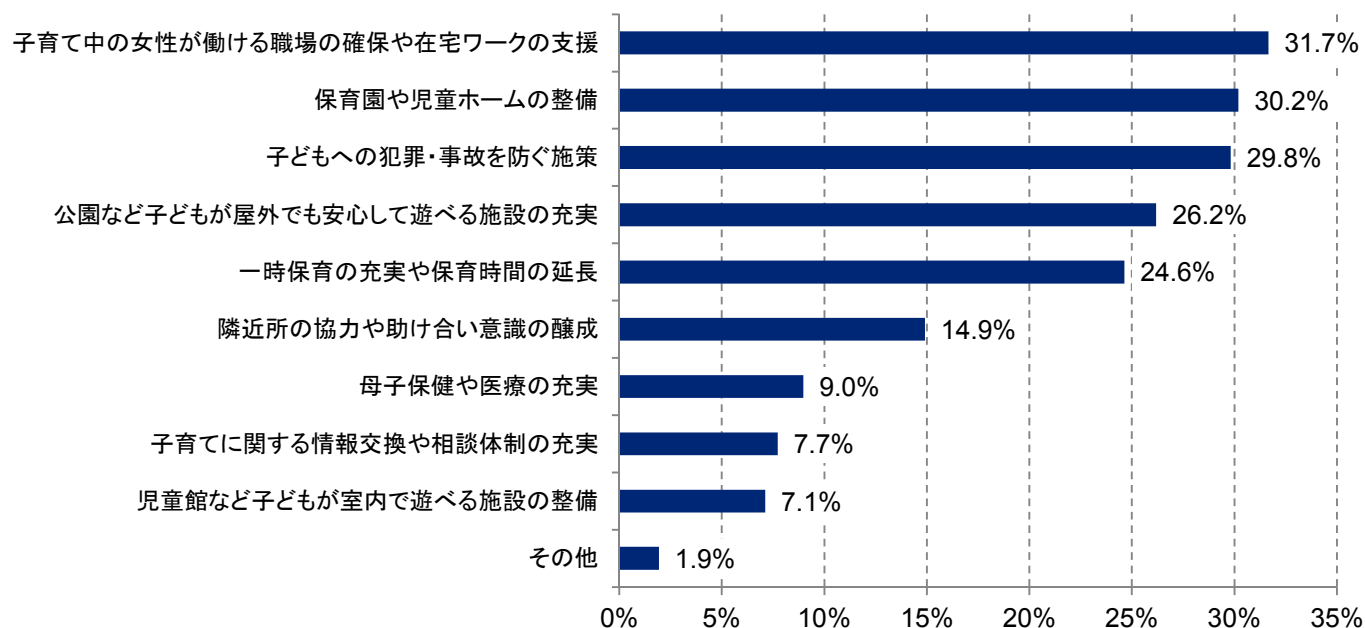
問9 子どもを育てていく上で、どのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。

(あてはまるもの2つ以内を選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「子育て中の女性が働ける職場の確保や在宅ワークの支援」が31.7%と最も多く、「保育園や児童ホームの整備」が30.2%、「子どもへの犯罪・事故を防ぐ施策」が29.8%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	一時保育の充実や 保育時間の延長	保育園や児童ホームの整備	児童館など子どもが室内で 遊べる施設の整備	公園など子どもが屋外でも 安心して遊べる施設の充実
人数	1,059	1,298	306	1,126
割合	24.6%	30.2%	7.1%	26.2%

	子育てに関する情報交換や 相談体制の充実	隣近所の協力や助け合い 意識の醸成	子育て中の女性が働ける職 場の確保や在宅ワークの支援	母子保健や医療の充実
人数	332	641	1,361	386
割合	7.7%	14.9%	31.7%	9.0%

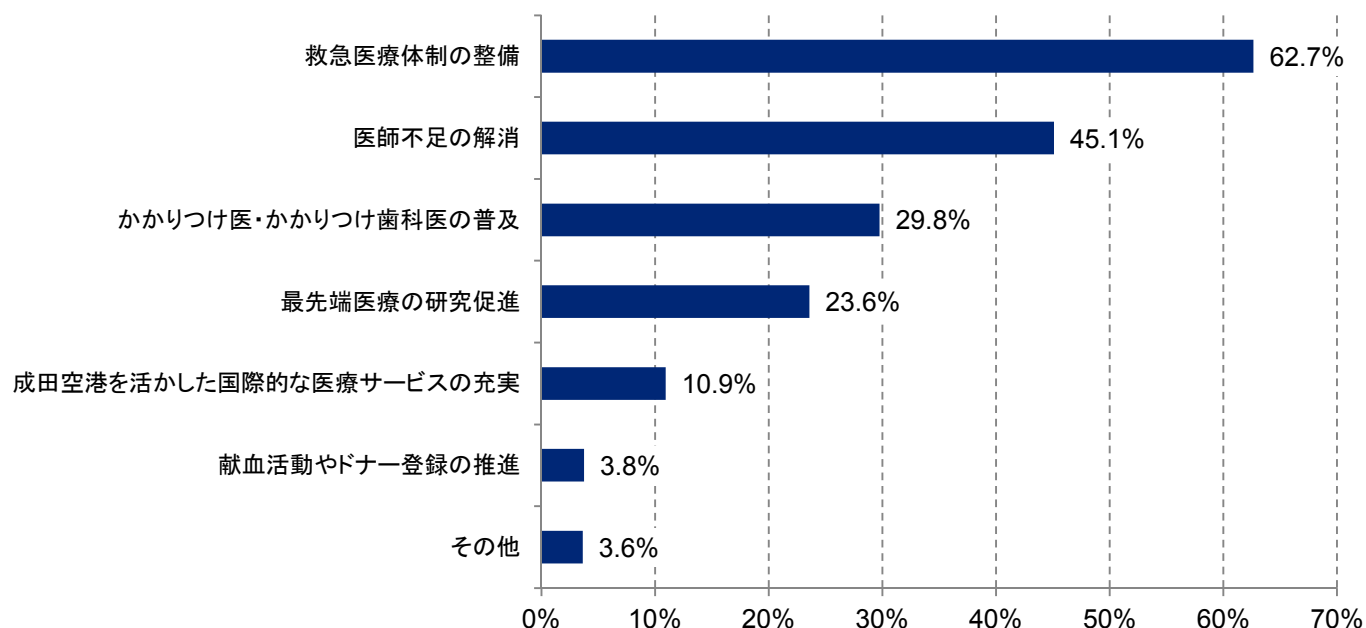
	子どもへの犯罪・ 事故を防ぐ施策	その他	有効回答者数
人数	1,282	83	4,300
割合	29.8%	1.9%	-

問10 成田市における医療サービスのさらなる向上のために、あなたはどのようなことに力を入れていく必要があるとお考えですか。（あてはまるもの2つ以内を選択）

（1）回答全体

回答全体としては、「救急医療体制の整備」が62.7%と最も多く、「医師不足の解消」が45.1%、「かかりつけ医・かかりつけ歯科医の普及」が29.8%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	医師不足の解消	救急医療体制の整備	かかりつけ医・ かかりつけ歯科医の普及	最先端医療の研究促進
人数	1,933	2,686	1,276	1,011
割合	45.1%	62.7%	29.8%	23.6%

	献血活動や ドナー登録の推進	成田空港を活かした国際 的な医療サービスの充実	その他	有効回答者数
人数	161	469	156	4,287
割合	3.8%	10.9%	3.6%	-

4. 教育文化について（問 11～問 13）

問 1 1 最近 1 年くらいの間に、あなたが行った学習やスポーツはどのようなものですか。

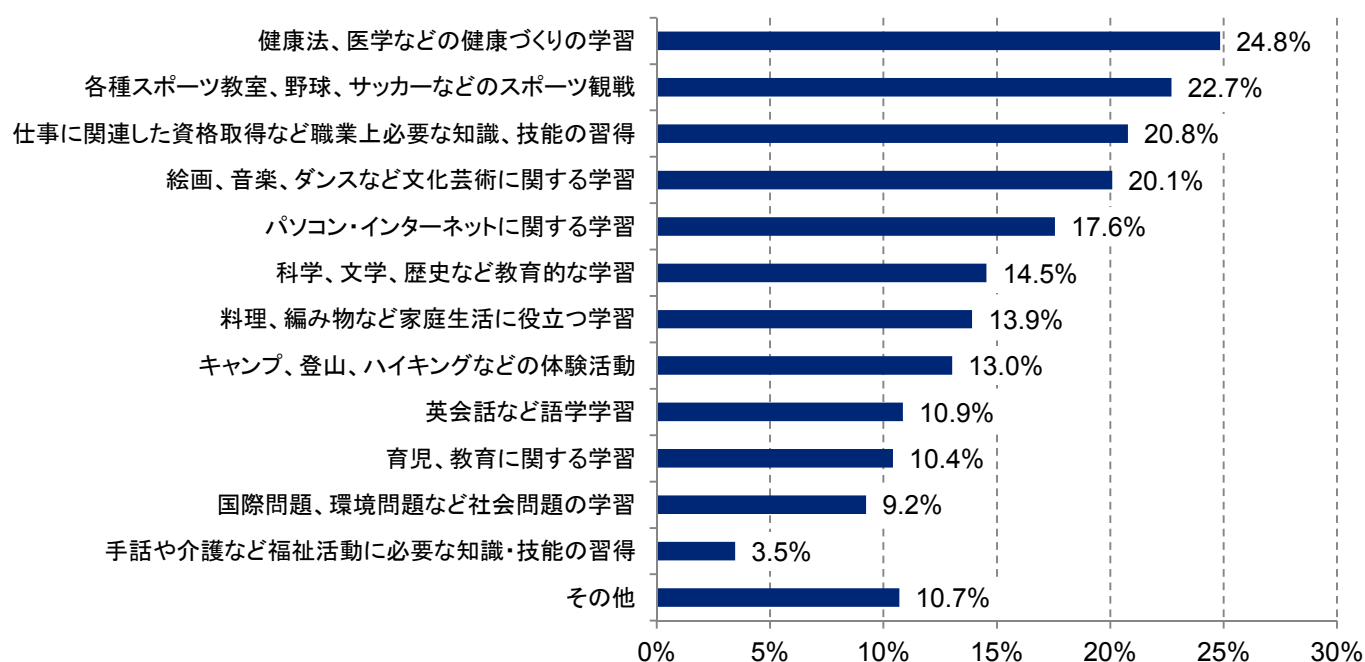
（あてはまるものすべてを選択）

（1）回答全体

回答全体としては、「健康法、医学などの健康づくりの学習」が 24.8%と最も多く、「各種スポーツ教室、野球、サッカーなどのスポーツ観戦」が 22.7%、「仕事に関連した資格取得など職業上必要な知識、技能の習得」が 20.8%と続いています。

特定の活動に偏ることなく、市民の方はさまざまな学習やスポーツを実施していることがわかります。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	絵画、音楽、ダンス など文化芸術に 関する学習	科学、文学、歴史な ど教育的な学習	国際問題、環境問題 など社会問題の学習	健康法、医学などの 健康づくりの学習	各種スポーツ教室、 野球、サッカーなど のスポーツ観戦
人数	731	529	336	904	826
割合	20.1%	14.5%	9.2%	24.8%	22.7%

	料理、編み物など家 庭生活に役立つ学習	育児、教育に 関する学習	仕事に関連した資格 取得など職業上必要 な知識、技能の習得	英会話など語学学習	パソコン・インター ネットに関する学習
人数	506	379	756	395	639
割合	13.9%	10.4%	20.8%	10.9%	17.6%

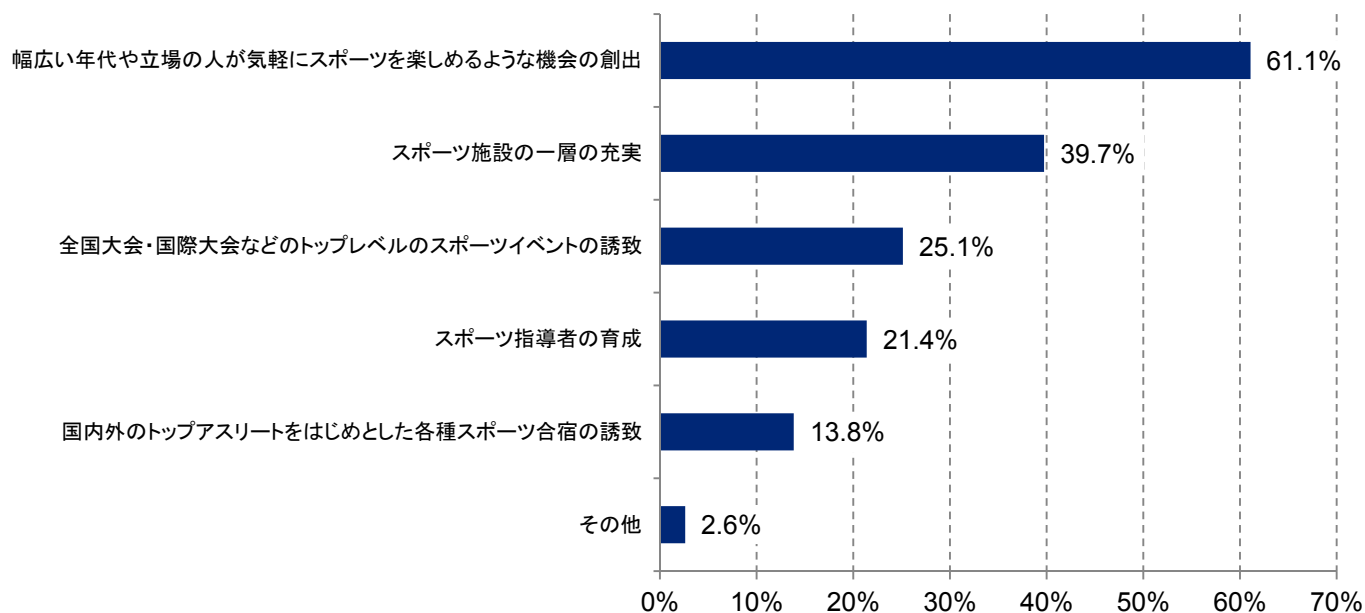
	手話や介護など福祉 活動に必要な知識・ 技能の習得	キャンプ、登山、ハ イキングなどの体験 活動	その他	有効回答者数
人数	126	474	389	3,638
割合	3.5%	13.0%	10.7%	-

問 1 2 あなたは、スポーツの振興を進めるうえで、どのようなことに力を入れるべきであるとお考えですか。
(あてはまるもの2つ以内を選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「幅広い年代や立場の人が気軽にスポーツを楽しめるような機会の創出」が61.1%と最も多く、「スポーツ施設の一層の充実」が39.7%、「全国大会・国際大会などのトップレベルのスポーツイベントの誘致」が25.1%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	全国大会・国際大会などの トップレベルの スポーツイベントの誘致	国内外のトップアスリートを はじめとした 各種スポーツ合宿の誘致	スポーツ施設の一層の充実	スポーツ指導者の育成
人数	1,049	577	1,658	892
割合	25.1%	13.8%	39.7%	21.4%

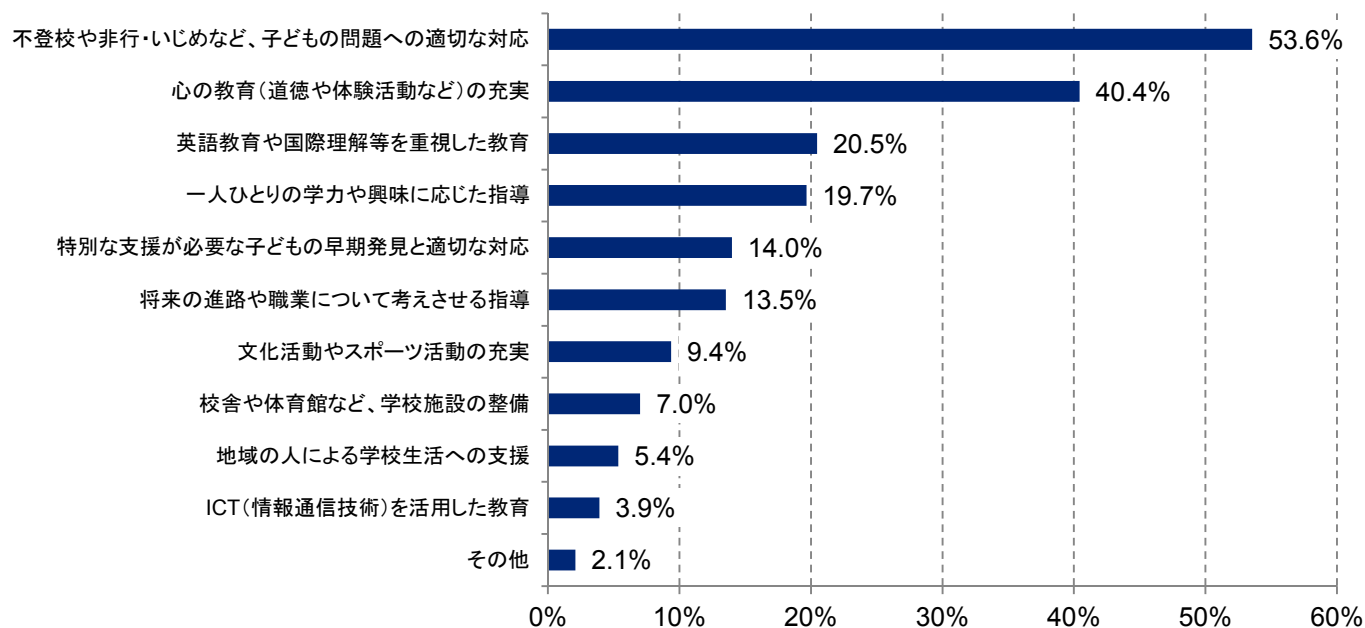
	幅広い年代や立場の人が 気軽にスポーツを 楽しめるような機会の創出	その他	有効回答者数
人数	2,549	108	4,173
割合	61.1%	2.6%	-

問 1 3 小・中学校における教育において、どのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。
(あてはまるもの2つ以内を選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「不登校や非行・いじめなど、子どもの問題への適切な対応」が 53.6%と最も多く、「心の教育（道徳や体験活動など）の充実」が 40.4%、「英語教育や国際理解等を重視した教育」が 20.5%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	校舎や体育館など、 学校施設の整備	不登校や非行・いじめなど、 子どもの問題への適切な対応	特別な支援が必要な子どもの 早期発見と適切な対応	一人ひとりの学力や 興味に応じた指導
人数	296	2,258	590	829
割合	7.0%	53.6%	14.0%	19.7%

	文化活動やスポーツ活動の充実	心の教育 (道徳や体験活動など)の充実	将来の進路や職業について 考えさせる指導	英語教育や国際理解等を 重視した教育
人数	395	1,705	571	863
割合	9.4%	40.4%	13.5%	20.5%

	ICT(情報通信技術)を 活用した教育	地域の人による 学校生活への支援	その他	有効回答者数
人数	165	226	88	4,216
割合	3.9%	5.4%	2.1%	-

5. 安心・安全のまちづくりについて（問 14～問 17）

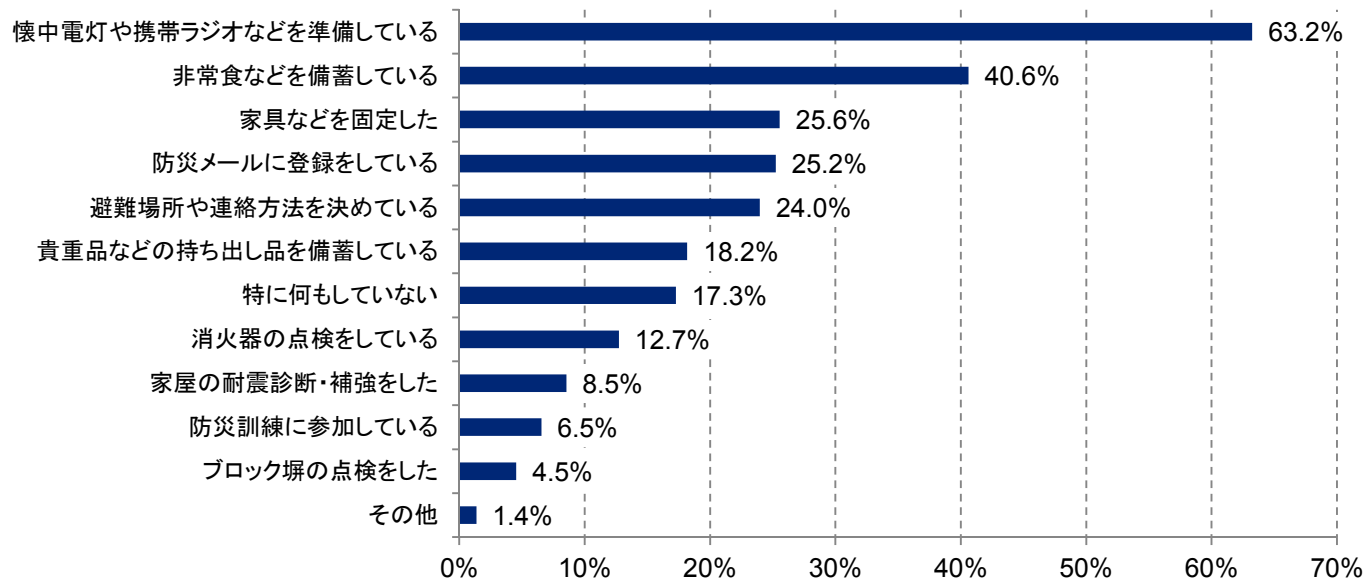
問 1 4 あなたの家庭では、大地震などの災害に備えて、どのようなことをしていますか。

（あてはまるものすべてを選択）

（1）回答全体

回答全体としては、「懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している」が 63.2%と最も多く、「非常食などを備蓄している」が 40.6%、「家具などを固定した」が 25.6%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	家屋の耐震診断・ 補強をした	ブロック塀の 点検をした	家具などを固定した	消火器の 点検をしている	非常食などを 備蓄している
人数	376	200	1, 125	560	1, 788
割合	8. 5%	4. 5%	25. 6%	12. 7%	40. 6%

	貴重品などの持ち出 し品を備蓄している	懐中電灯や 携帯ラジオなどを 準備している	避難場所や連絡方法 を決めている	防災訓練に参加して いる	防災メールに登録を している
人数	800	2, 784	1, 055	288	1, 111
割合	18. 2%	63. 2%	24. 0%	6. 5%	25. 2%

	特に何もしていない	その他	有効回答者数
人数	760	60	4, 402
割合	17. 3%	1. 4%	-

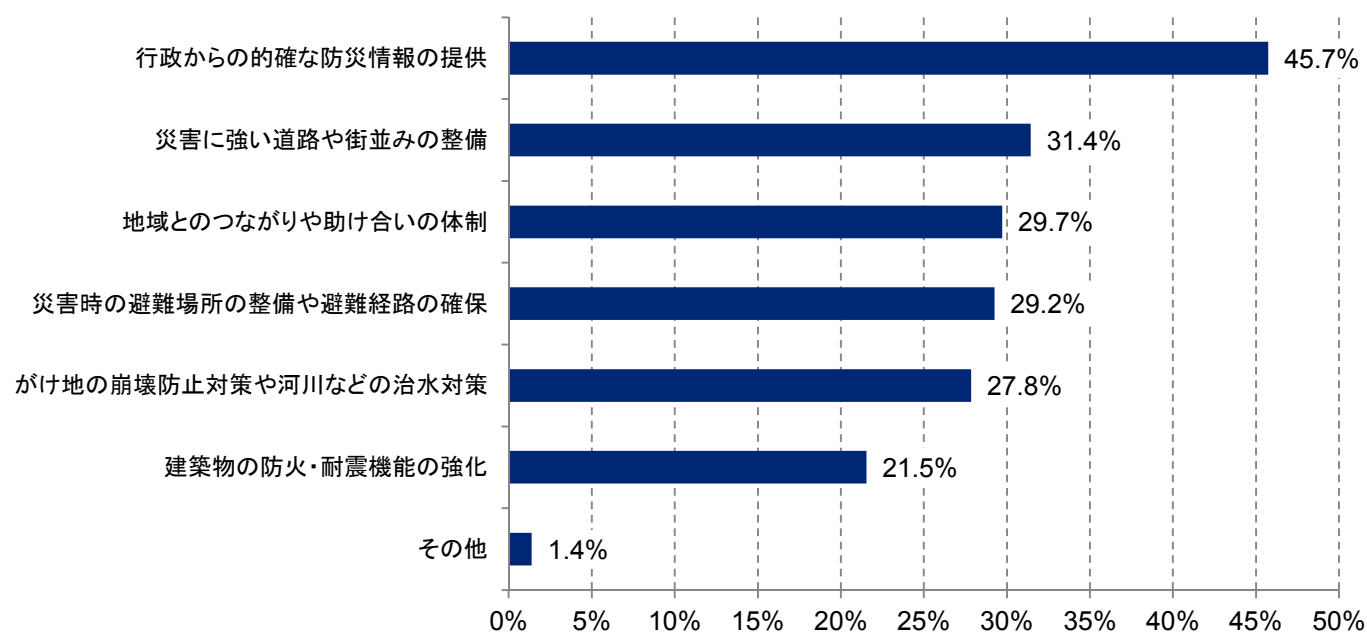
問 1 5 大地震や風水害などの災害に備えて、どのようなことが重要だと思いますか。

(あてはまるもの 2 つ以内を選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「行政からの的確な防災情報の提供」が 45.7%と最も多く、「災害に強い道路や街並みの整備」が 31.4%、「地域とのつながりや助け合いの体制」が 29.7%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	建築物の防火・耐震機能の強化	行政からの的確な防災情報の提供	災害に強い道路や街並みの整備	がけ地の崩壊防止対策や河川などの治水対策	災害時の避難場所の整備や避難経路の確保
人数	919	1,952	1,341	1,188	1,248
割合	21.5%	45.7%	31.4%	27.8%	29.2%

	地域とのつながりや助け合いの体制	その他	有効回答者数
人数	1,268	59	4,267
割合	29.7%	1.4%	-

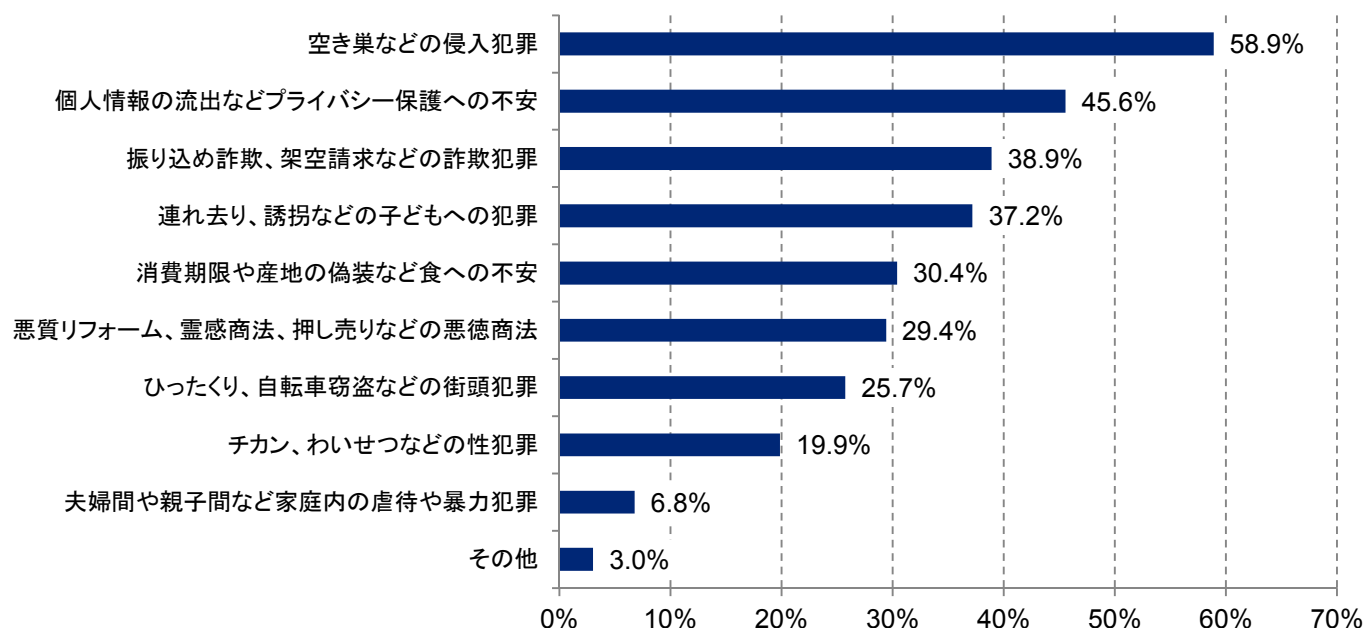
問16 あなたの身の回りの犯罪等に関して、何か不安を感じることはありますか。

(あてはまるものすべてを選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「空き巣などの侵入犯罪」が58.9%と最も多く、「個人情報の流出などプライバシー保護への不安」が45.6%、「振り込め詐欺、架空請求などの詐欺犯罪」が38.9%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	空き巣などの侵入犯罪	ひったくり、自転車窃盗 などの街頭犯罪	連れ去り、誘拐などの 子どもへの犯罪	振り込め詐欺、架空請求 などの詐欺犯罪
人数	2,517	1,100	1,589	1,663
割合	58.9%	25.7%	37.2%	38.9%

	チカン、わいせつ などの性犯罪	夫婦間や親子間など 家庭内の虐待や暴力犯罪	悪質リフォーム、靈感商法、 押し売りなどの悪徳商法	個人情報の流出など プライバシー保護への不安
人数	849	290	1,257	1,947
割合	19.9%	6.8%	29.4%	45.6%

	消費期限や産地の偽装など 食への不安	その他	有効回答者数
人数	1,299	130	4,273
割合	30.4%	3.0%	-

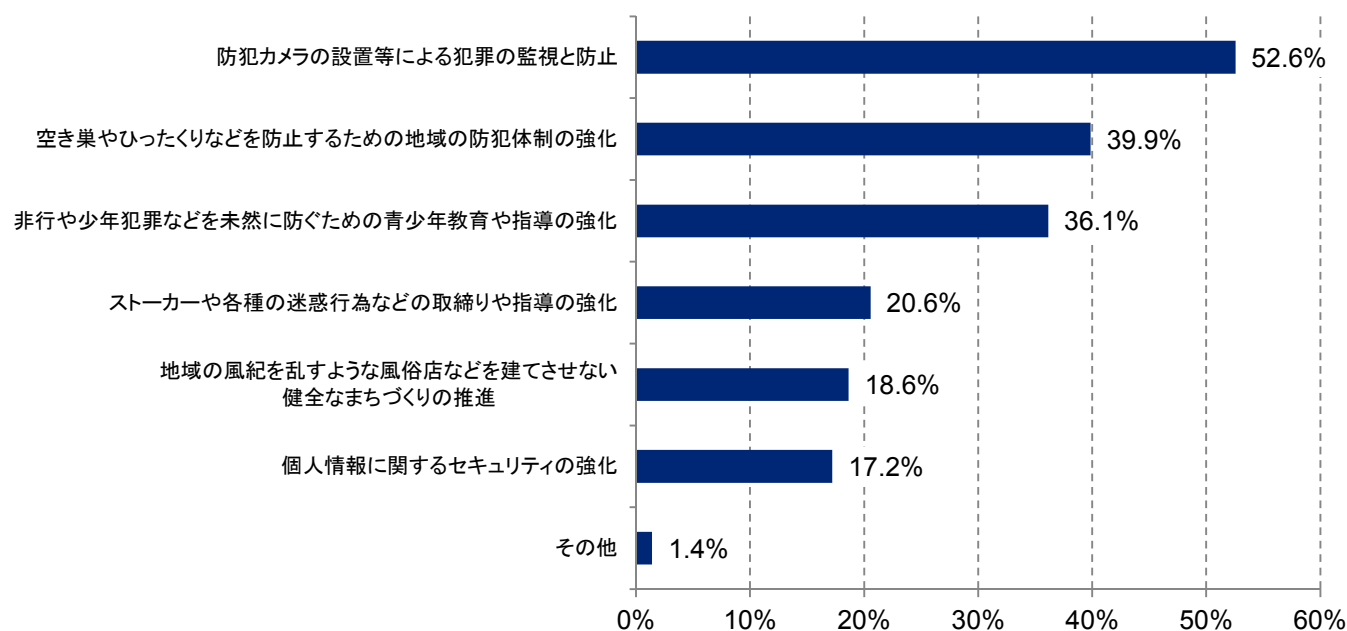
問 17 防犯対策についてどのようなことが重要だと思いますか。

(あてはまるもの2つ以内を選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「防犯カメラの設置等による犯罪の監視と防止」が52.6%と最も多く、「空き巣やひったくりなどを防止するための地域の防犯体制の強化」が39.9%、「非行や少年犯罪などを未然に防ぐための青少年教育や指導の強化」が36.1%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	非行や少年犯罪などを未然に防ぐための青少年教育や指導の強化	ストーカーや各種の迷惑行為などの取締りや指導の強化	空き巣やひったくりなどを防止するための地域の防犯体制の強化	地域の風紀を乱すような風俗店などを建てさせない健全なまちづくりの推進
人数	1,541	877	1,700	795
割合	36.1%	20.6%	39.9%	18.6%

	防犯カメラの設置等による犯罪の監視と防止	個人情報に関するセキュリティの強化	その他	有効回答者数
人数	2,241	734	60	4,264
割合	52.6%	17.2%	1.4%	-

6. 環境問題について（問 18～問 19）

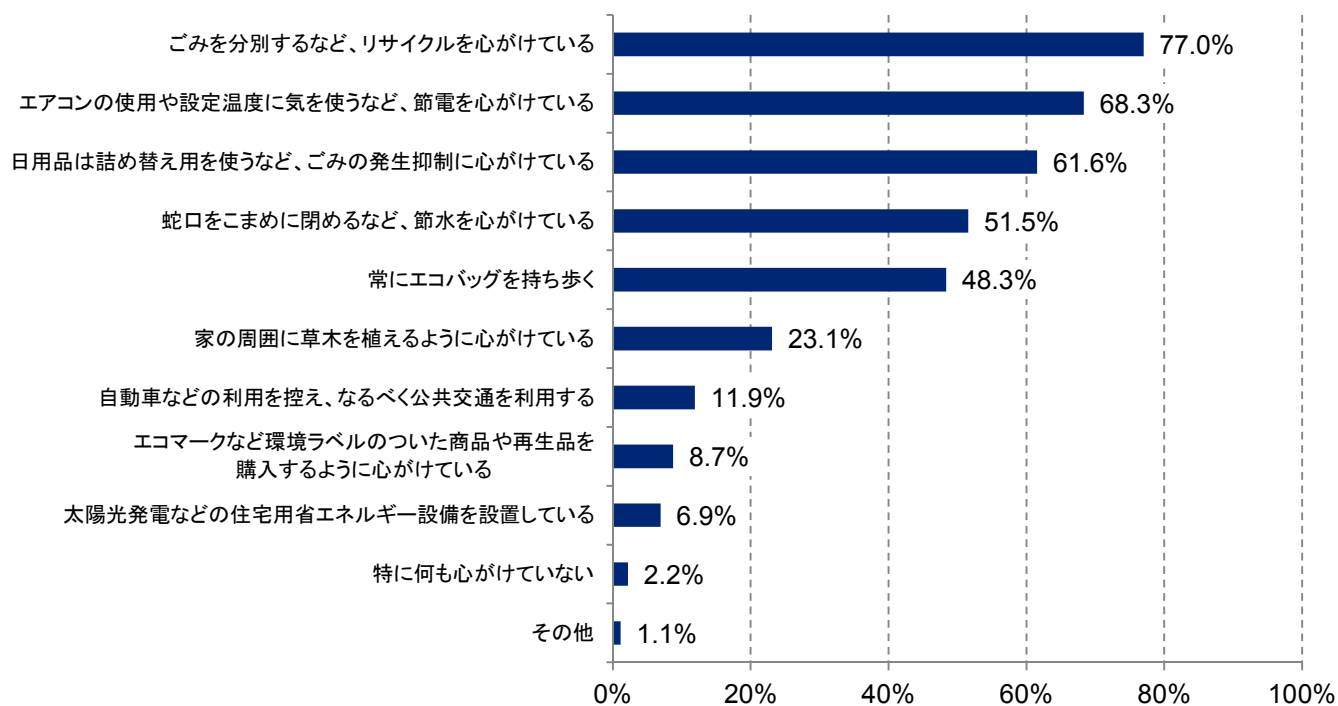
問 18 環境を保全するために、あなたが普段取り組んでいることは、次のうちどのようなことですか。

（あてはまるものすべてを選択）

（1）回答全体

回答全体としては、「ごみを分別するなど、リサイクルを心がけている」が 77.0%と最も多く、「エアコンの使用や設定温度に気を使うなど、節電を心がけている」が 68.3%、「日用品は詰め替え用を使うなど、ごみの発生抑制に心がけている」が 61.6%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	常にエコバッグを持ち歩く	日用品は詰め替え用を使うなど ごみの発生抑制に心がけている	蛇口をこまめに閉める など、節水を心がけている	エアコンの使用や 設定温度に気を使うなど、 節電を心がけている
人数	2,124	2,704	2,264	3,002
割合	48.3%	61.6%	51.5%	68.3%

	家の周囲に草木を 植えるように心がけている	自動車などの利用を控え、 なるべく公共交通を利用する	エコマークなど環境ラベル のついた商品や再生品を購 入するように心がけている	太陽光発電などの住宅用省エネ ルギー設備を設置している
人数	1,014	522	384	304
割合	23.1%	11.9%	8.7%	6.9%

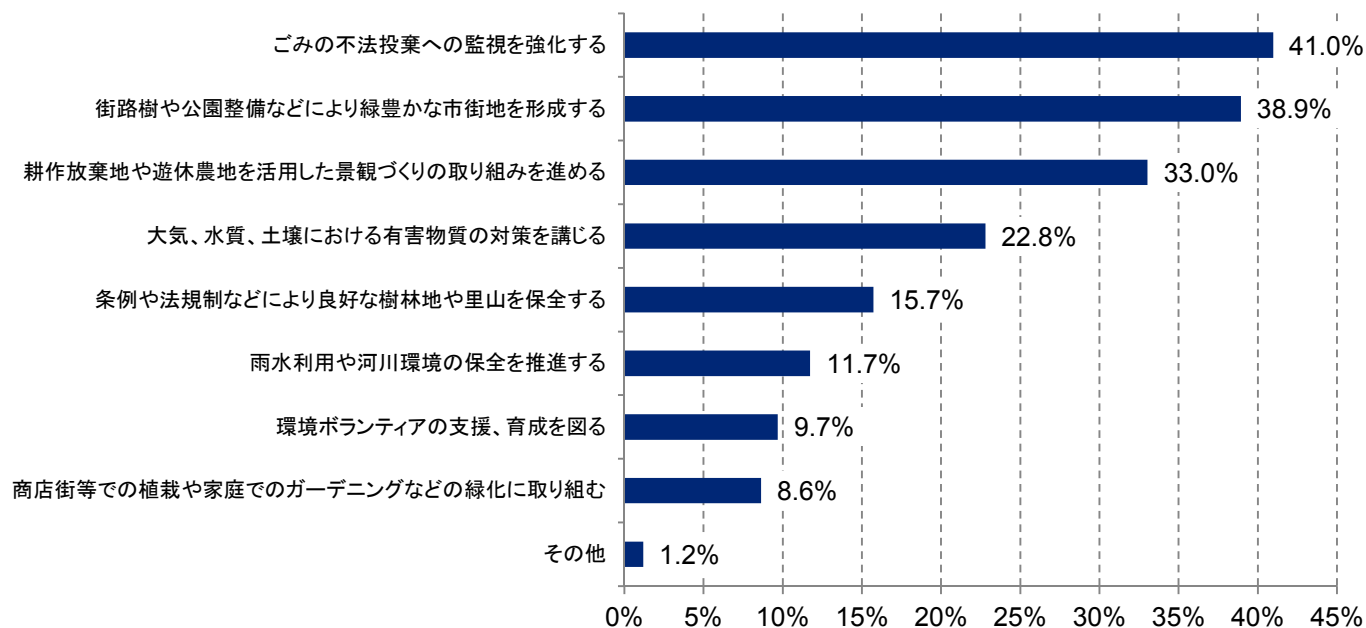
	ごみを分別するなど、リサ イクルを心がけている	特に何も心がけていない	その他	有効回答者数
人数	3,382	96	50	4,393
割合	77.0%	2.2%	1.1%	-

問１９ 自然環境を保護し、緑豊かなまちをつくるために、市民と行政が取り組むべきことは、次のうちどれですか。（あてはまるもの２つ以内を選択）

（１）回答全体

回答全体としては、「ごみの不法投棄への監視を強化する」が 41.0%と最も多く、「街路樹や公園整備などにより緑豊かな市街地を形成する」が 38.9%、「耕作放棄地や遊休農地を活用した景観づくりの取り組みを進める」が 33.0%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	街路樹や公園整備などにより緑豊かな市街地を形成する	商店街等での植栽や家庭でのガーデニングなどの緑化に取り組む	耕作放棄地や遊休農地を活用した景観づくりの取り組みを進める	条例や法規制などにより良好な樹林地や里山を保全する	大気、水質、土壌における有害物質の対策を講じる
人数	1,639	363	1,391	662	960
割合	38.9%	8.6%	33.0%	15.7%	22.8%

	ごみの不法投棄への監視を強化する	雨水利用や河川環境の保全を推進する	環境ボランティアの支援、育成を図る	その他	有効回答者数
人数	1,725	494	408	50	4,210
割合	41.0%	11.7%	9.7%	1.2%	-

7. 市民と行政の協働について（問 20～問 22）

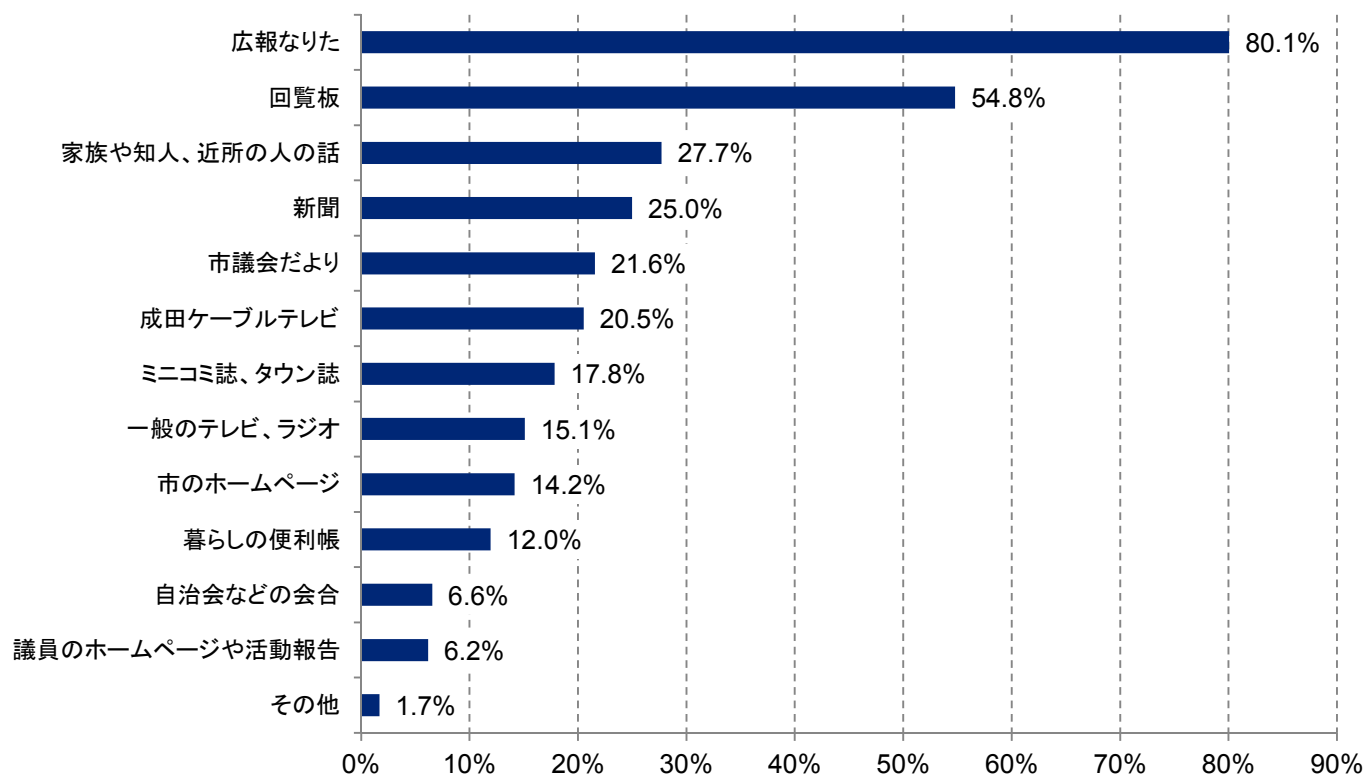
問 20 あなたは、成田市に関する情報を何によって知ることが多いですか。

（あてはまるものすべてを選択）

（1）回答全体

回答全体としては、「広報なりた」が 80.1%と最も多く、「回覧板」が 54.8%、「家族や知人、近所の人の話」が 27.7%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	広報なりた	暮らしの 便利帳	市の ホームページ	回覧板	市議会だより	議員のホーム ページや 活動報告	自治会などの 会合
人数	3,510	524	621	2,402	946	271	288
割合	80.1%	12.0%	14.2%	54.8%	21.6%	6.2%	6.6%

	家族や知人 近所の人の話	成田 ケーブル テレビ	一般の テレビ ラジオ	新聞	ミニコミ誌 タウン誌	その他	有効回答者数
人数	1,215	900	662	1,095	782	74	4,384
割合	27.7%	20.5%	15.1%	25.0%	17.8%	1.7%	-

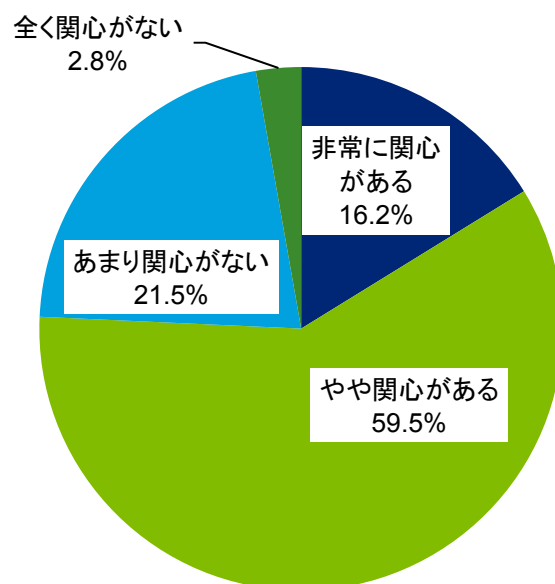
問 2 1 あなたは、市政にどの程度関心をお持ちですか。（1つを選択）

（1）回答全体

回答全体としては、「やや関心がある」が 59.5%と最も多く、「あまり関心がない」が 21.5%、「非常に関心がある」が 16.2%と続いています。

「非常に関心がある」と「やや関心がある」を合わせると全体の 75%超となり、市民の方の 4 分の 3 以上の方は、成田市政に関心を持っていることがわかります。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	非常に関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	合計
人数	709	2,602	941	121	4,373
割合	16.2%	59.5%	21.5%	2.8%	100.0%

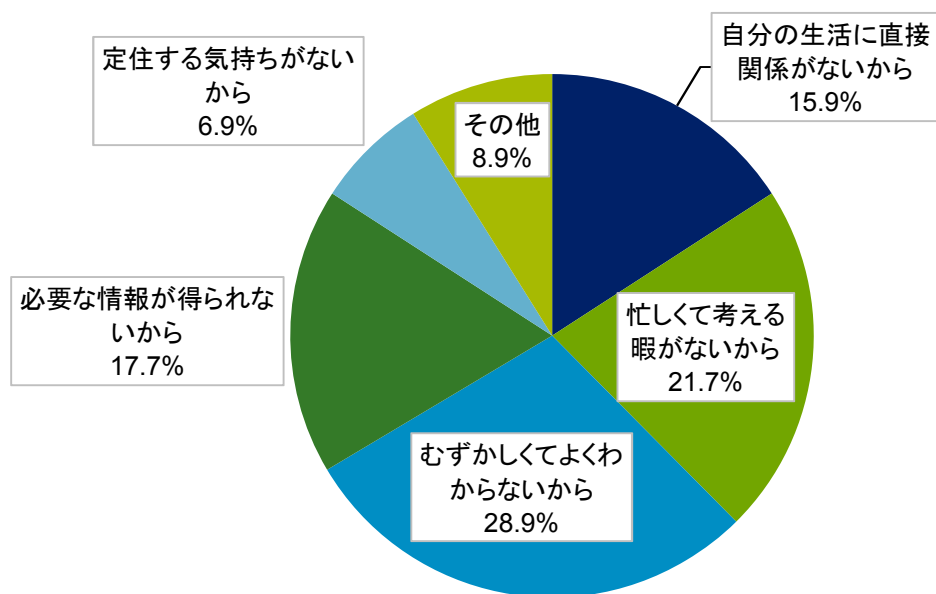
問21-① 問21で「あまり関心がない」または「全く関心がない」を答えた方におうかがいします。
その理由は何ですか。（1つを選択）

（1）回答全体

回答全体としては、「むずかしくてよくわからないから」が28.9%と最も多く、「忙しくて考える暇がないから」が21.7%、「必要な情報が得られないから」が17.7%と続いています。

成田市政に関心を持っていない理由としては、市政に関する情報を得られる機会が限られており、その結果、成田市政のことを難しいと感じている方が多いと考えられます。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	自分の生活に 直接関係がないから	忙しくて 考える暇がないから	むずかしくて よくわからないから	必要な情報が 得られないから
人数	162	222	295	181
割合	15.9%	21.7%	28.9%	17.7%

	定住する気持ちが ないから	その他	合計
人数	71	91	1,022
割合	6.9%	8.9%	100.0%

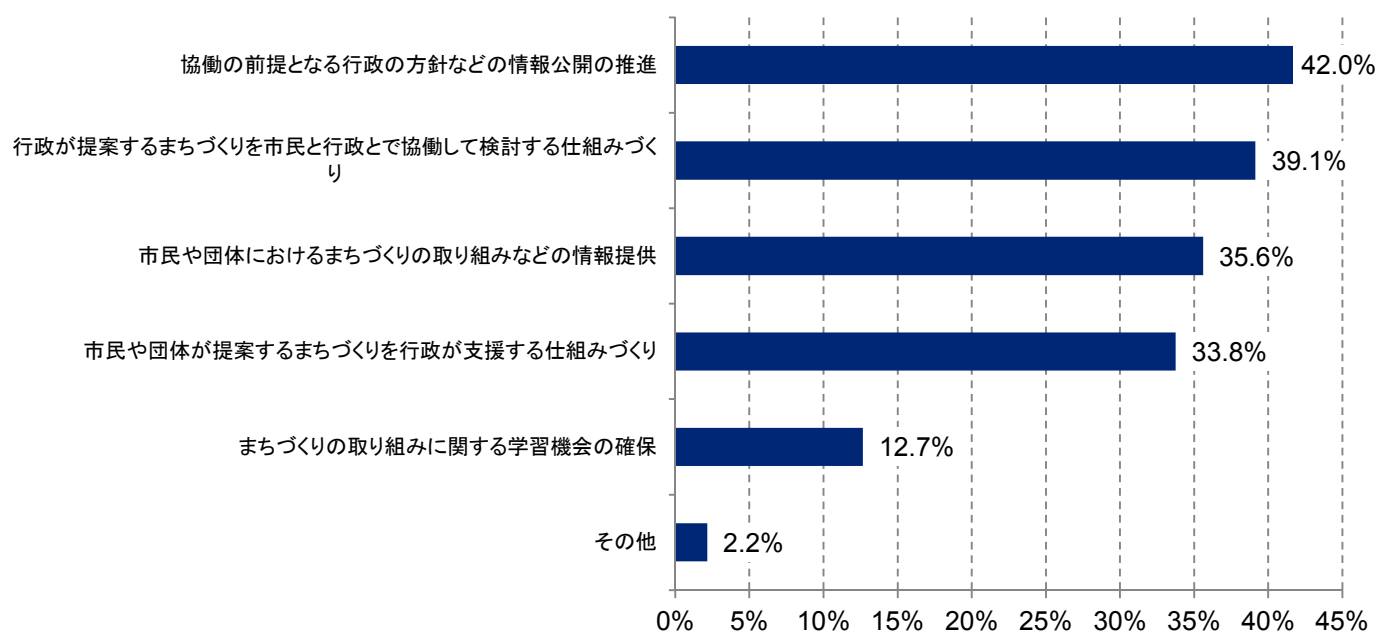
問２２ 成田市では、市民と行政がともに考え行動する、協働のまちづくりを推進したいと考えています。協働のまちづくりの推進にあたって、どのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまるもの２つ以内を選択)

(１) 回答全体

回答全体としては、「協働の前提となる行政の方針などの情報公開の推進」が42.0%と最も多く、「行政が提案するまちづくりを市民と行政とで協働して検討する仕組みづくり」が39.1%、「市民や団体におけるまちづくりの取り組みなどの情報提供」が35.6%と続いています。

市民の方の多くが、行政の推進には情報公開が必要であると考えていることがわかります。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	協働の前提となる行政の方針などの情報公開の推進	市民や団体におけるまちづくりの取り組みなどの情報提供	まちづくりの取り組みに関する学習機会の確保	行政が提案するまちづくりを市民と行政とで協働して検討する仕組みづくり
人数	1,776	1,504	535	1,653
割合	42.0%	35.6%	12.7%	39.1%

	市民や団体が提案するまちづくりを行政が支援する仕組みづくり	その他	有効回答者数
人数	1,426	91	4,224
割合	33.8%	2.2%	-

8. 都市基盤・都市環境について(問 23～問 27)

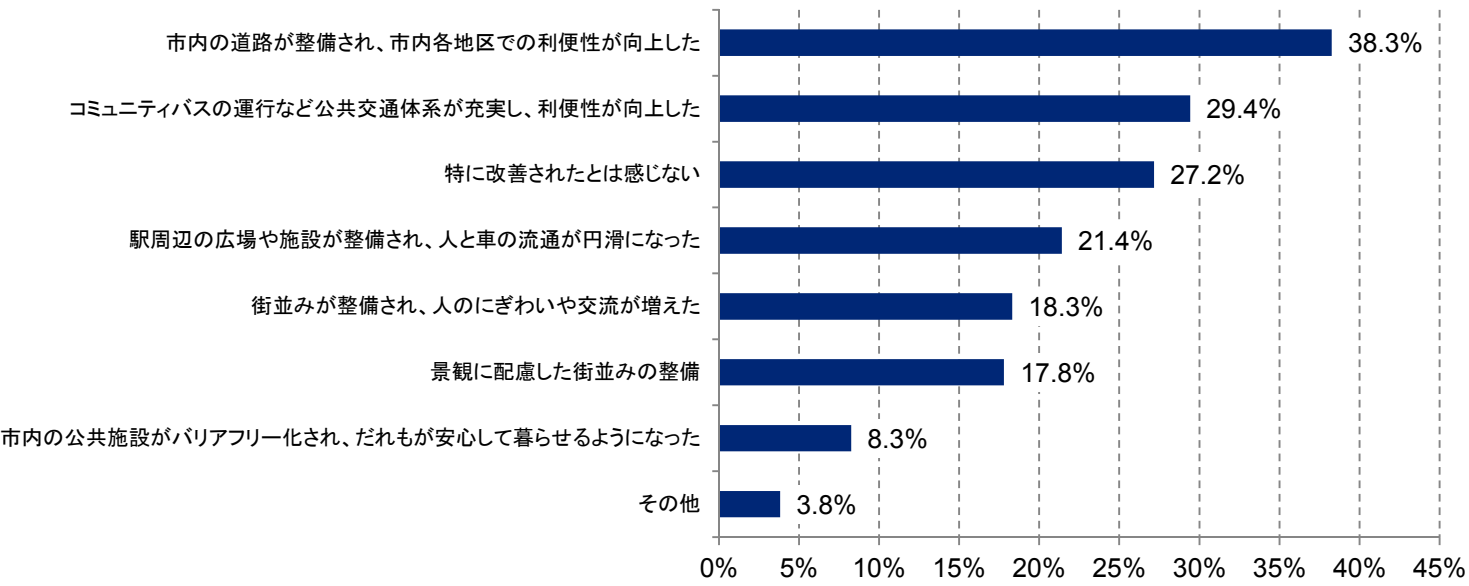
問 2 3 あなたが成田市内における都市基盤について、以前と比べて改善されていると感じているものはどれですか。(あてはまるものすべてを選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「市内の道路が整備され、市内各地区での利便性が向上した」が 38.3%と最も多く、「コミュニティバスの運行など公共交通体系が充実し、利便性が向上した」が 29.4%、「特に改善されたとは感じない」が 27.2%と続いています。

道路網の整備や公共交通機関の整備等、交通インフラの整備状況が改善されていると感じてる方が多いことがわかります。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	市内の道路が整備され、市内各地区での利便性が向上した	街並みが整備され、人のにぎわいや交流が増えた	コミュニティバスの運行など公共交通体系が充実し、利便性が向上した	駅周辺の広場や施設が整備され、人と車の流通が円滑になった	市内の公共施設がバリアフリー化され、だれもが安心して暮らせるようになった
人数	1,633	782	1,256	914	353
割合	38.3%	18.3%	29.4%	21.4%	8.3%

	景観に配慮した街並みの整備	特に改善されたとは感じない	その他	有効回答者数
人数	760	1,160	163	4,269
割合	17.8%	27.2%	3.8%	-

問 2 4 成田市の都市基盤を充実させるために、どのような取り組みが望ましいとお考えですか。

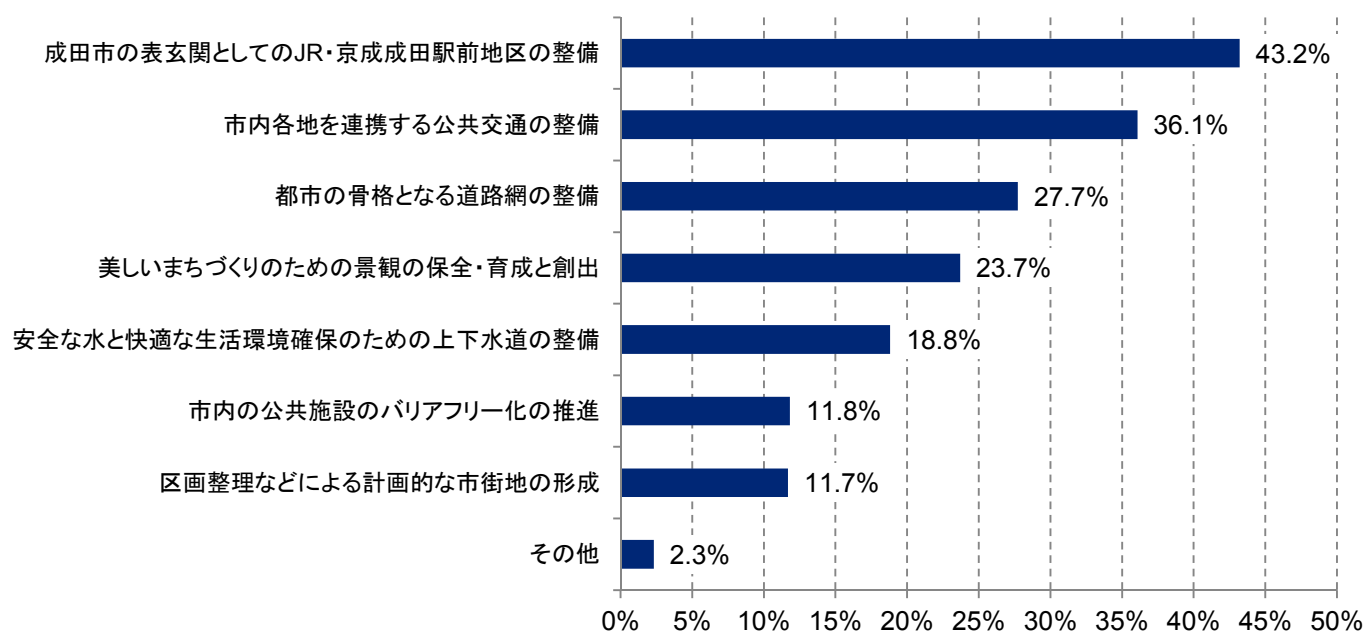
(あてはまるもの 2 つ以内を選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「成田市の表玄関としての JR・京成成田駅前地区の整備」が 43.2%と最も多く、「市内各地を連携する公共交通の整備」が 36.1%、「都市の骨格となる道路網の整備」が 27.7%と続いています。

駅前や道路の整備等、交通インフラの整備を必要としている割合が多いことがわかります。問 23 で道路網や公共交通機関の整備状況が改善されていると感じてはいるものの、まだ改善の余地があることを示しています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	都市の骨格となる 道路網の整備	市内各地を連携する 公共交通の整備	安全な水と快適な生 活環境確保のための 上下水道の整備	区画整理などによ る計画的な 市街地の形成	成田市の表玄関 としての JR・京成成田 駅前地区の整備
人数	1,170	1,522	794	493	1,823
割合	27.7%	36.1%	18.8%	11.7%	43.2%

	市内の公共施設のバ リアフリー化の推進	美しいまちづくりの ための景観の保全・ 育成と創出	その他	有効回答者数
人数	499	1,000	98	4,219
割合	11.8%	23.7%	2.3%	-

問 2 5 成田空港が立地することについて、どのようなメリットがあると思いますか。

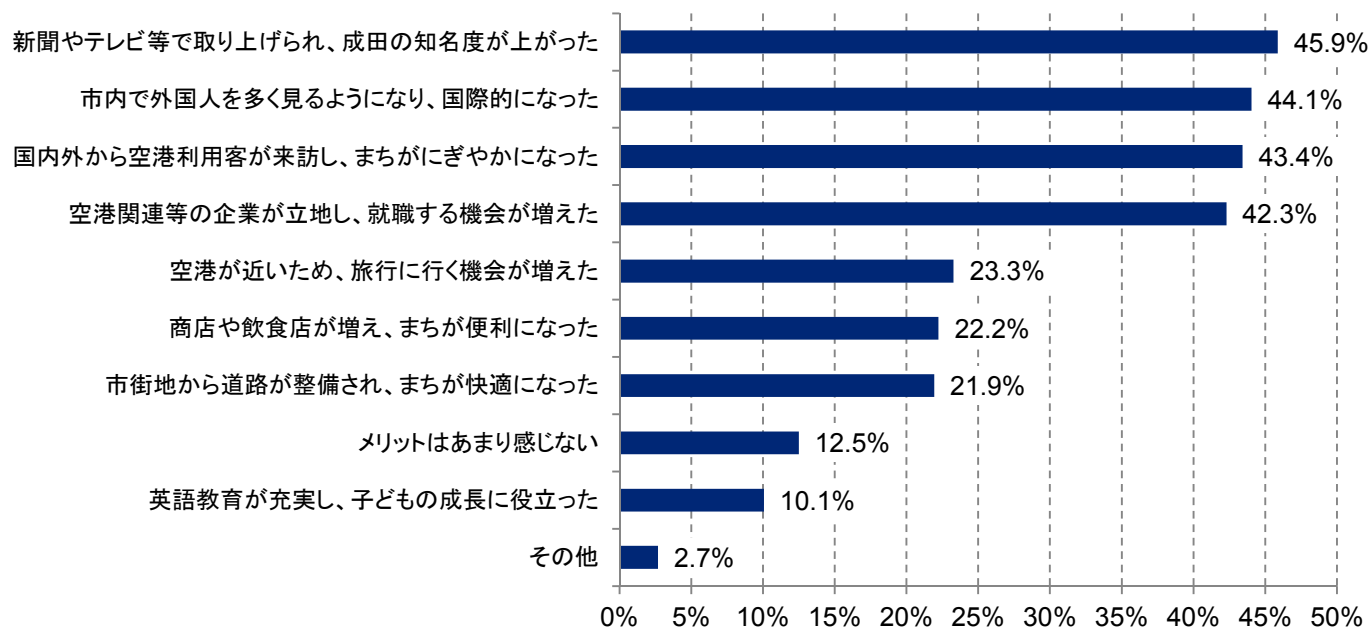
(あてはまるものすべてを選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「新聞やテレビ等で取り上げられ、成田の知名度が上がった」が 45.9%と最も多く、「市内で外国人を多く見るようになり、国際的になった」が 44.1%、「国内外から空港利用客が来訪し、まちがにぎやかになった」が 43.4%と続いています。

空港立地による成田市の知名度の向上、成田市のまちの活性化がメリットとして多くあげられています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	商店や飲食店が増え、 まちが便利になった	国内外から空港利用客が来訪 し、まちがにぎやかになった	市街地から道路が整備さ れ、まちが快適になった	空港関連等の企業が立地 し、就職する機会が増えた
人数	961	1,877	948	1,828
割合	22.2%	43.4%	21.9%	42.3%

	市内で外国人を多く見るよう になり、国際的になった	英語教育が充実し、子ども の成長に役立った	新聞やテレビ等で取り上げら れ、成田の知名度が上がった	空港が近いので、旅行に行 く機会が増えた
人数	1,904	435	1,983	1,006
割合	44.1%	10.1%	45.9%	23.3%

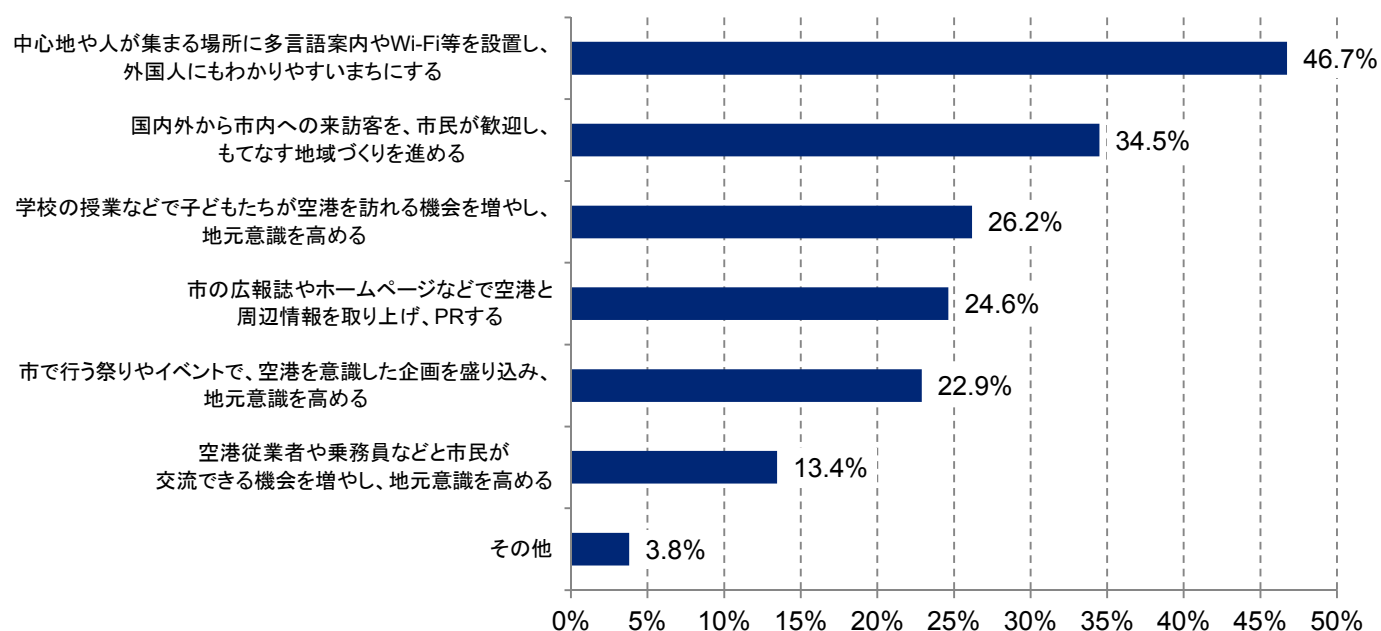
	メリットはあまり感じない	その他	有効回答者数
人数	540	116	4,322
割合	12.5%	2.7%	-

問26 成田空港の魅力を高め、地域で支えていくためには、どのような取り組みが望ましいとお考えですか。
(あてはまるもの2つ以内を選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「中心地や人が集まる場所に多言語案内やWi-Fi等を設置し、外国人にもわかりやすいまちにする」が46.7%と最も多く、「国内外から市内への来訪客を、市民が歓迎し、もてなす地域づくりを進める」が34.5%、「学校の授業などで子どもたちが空港を訪れる機会を増やし、地元意識を高める」が26.2%と続いています。成田空港を空の表玄関としての役割だけでなく、観光施設の機軸として機能させ、成田市内にも人が集まるような取り組みを必要としていることがわかります。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	国内外から市内への来訪客を、市民が歓迎し、もてなす地域づくりを進める	中心地や人が集まる場所に多言語案内やWi-Fi等を設置し、外国人にもわかりやすいまちにする	市で行う祭りやイベントで、空港を意識した企画を盛り込み、地元意識を高める	学校の授業などで子どもたちが空港を訪れる機会を増やし、地元意識を高める
人数	1,439	1,950	955	1,092
割合	34.5%	46.7%	22.9%	26.2%

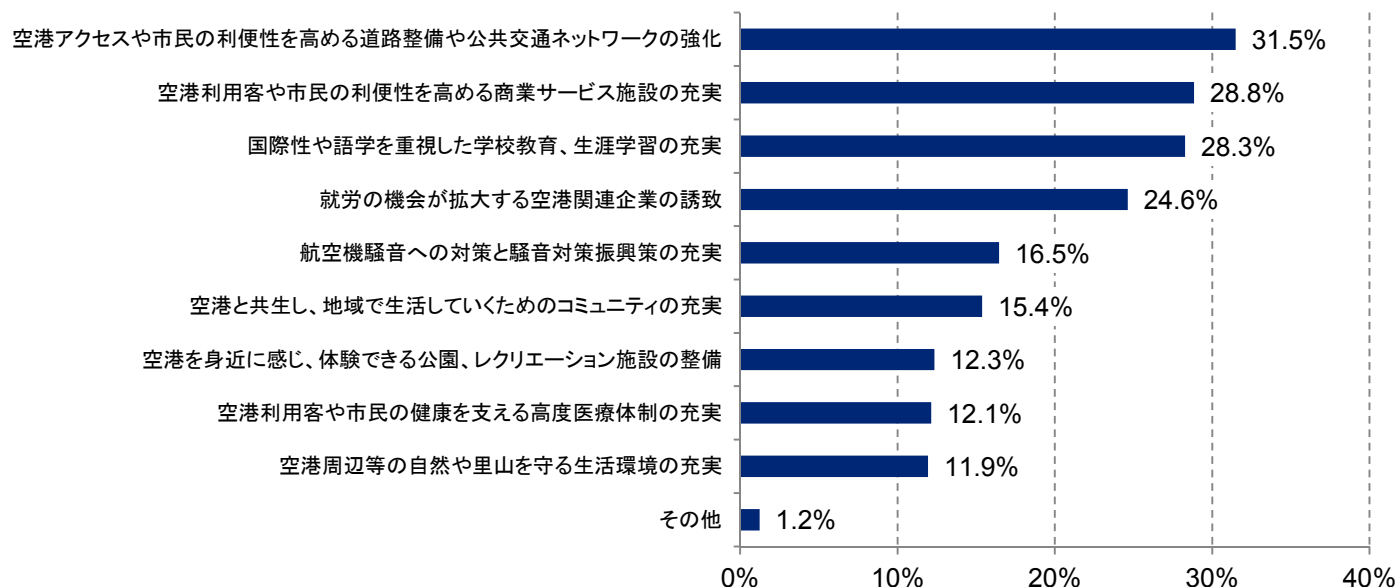
	空港従業者や乗務員などと市民が交流できる機会を増やし、地元意識を高める	市の広報誌やホームページなどで空港と周辺情報を取り上げ、PRする	その他	有効回答者数
人数	561	1,028	159	4,172
割合	13.4%	24.6%	3.8%	-

問 2 7 空港立地を活かし、豊かな市民生活を実現するためには、どのような取り組みが望ましいと思いますか。
(あてはまるもの 2 つ以内を選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「空港アクセスや市民の利便性を高める道路整備や公共交通ネットワークの強化」が 31.5%と最も多く、「空港利用客や市民の利便性を高める商業サービス施設の充実」が 28.8%、「国際性や語学を重視した学校教育、生涯学習の充実」が 28.3%と続いています。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	国際性や語学を重視した学校教育、生涯学習の充実	空港利用客や市民の利便性を高める商業サービス施設の充実	空港を身近に感じ、体験できる公園、レクリエーション施設の整備	空港アクセスや市民の利便性を高める道路整備や公共交通ネットワークの強化
人数	1,194	1,218	521	1,330
割合	28.3%	28.8%	12.3%	31.5%

	空港利用客や市民の健康を支える高度医療体制の充実	空港周辺等の自然や里山を守る生活環境の充実	空港と共生し、地域で生活していくためのコミュニティの充実	航空機騒音への対策と騒音対策振興策の充実
人数	513	504	649	695
割合	12.1%	11.9%	15.4%	16.5%

	就労の機会が拡大する空港関連企業の誘致	その他	有効回答者数
人数	1,040	52	4,223
割合	24.6%	1.2%	-

9. 成田市の発展方向について(問 28)

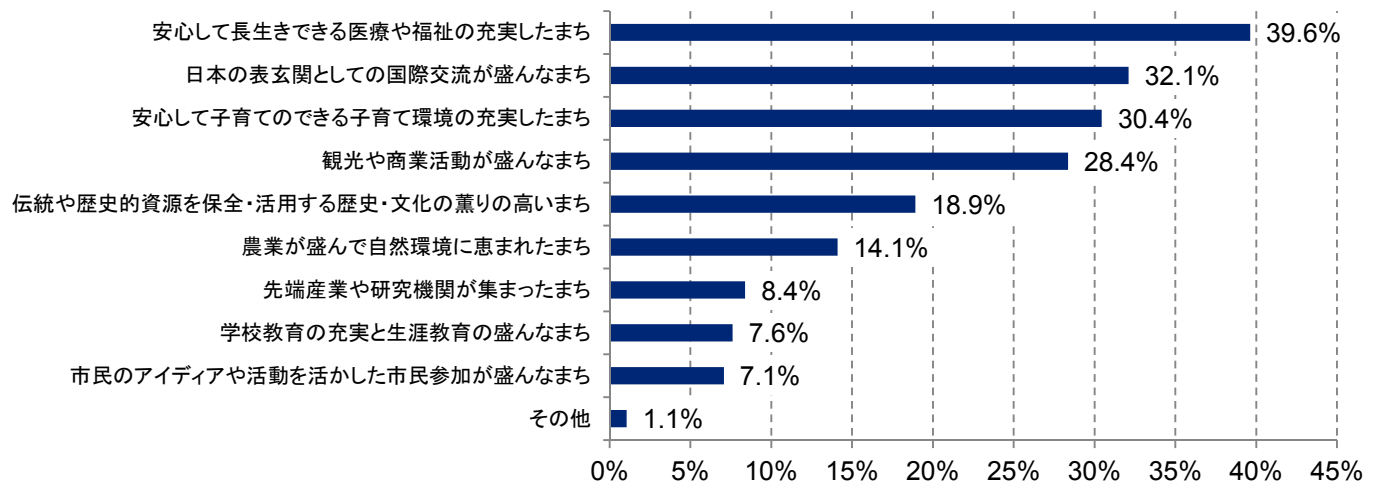
問 28 成田市の発展方向について、どのような方向が望ましいとお考えですか。

(あてはまるもの2つ以内を選択)

(1) 回答全体

回答全体としては、「安心して長生きできる医療や福祉の充実したまち」が 39.6%と最も多く、「日本の表玄関としての国際交流が盛んなまち」が 32.1%、「安心して子育てのできる子育て環境の充実したまち」が 30.4%と続いています。医療や子育て支援等の福祉の充実に関する回答が大きな割合を占めています。一方、成田空港や、新勝寺のように、成田市特有の資源を活用したまちの発展を望んでいる方も多いことがわかります。

【グラフ：回答者全体（比率）】



【表：回答者全体（回答者数・比率）】

	農業が盛んで自然環境に 恵まれたまち	先端産業や 研究機関が集まったまち	観光や商業活動が 盛んなまち	日本の表玄関としての 国際交流が盛んなまち
人数	600	357	1, 207	1, 367
割合	14. 1%	8. 4%	28. 4%	32. 1%

	安心して子育てのできる 子育て環境の充実したまち	安心して長生きできる 医療や福祉の充実したまち	学校教育の充実と 生涯教育の盛んなまち	伝統や歴史的資源を保全・ 活用する歴史・文化の薫り の高いまち
人数	1, 296	1, 687	324	805
割合	30. 4%	39. 6%	7. 6%	18. 9%

	市民のアイデアや活動を活か した市民参加が盛んなまち	その他	有効回答者数
人数	301	45	4, 257
割合	7. 1%	1. 1%	-